

年 報

2023 年度（令和 5 年度）

No.26

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	10
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	18
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 令和5年度の主な事業実績	20
II 展 示	21
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	38
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 考古学セミナー	
5 近世史セミナー	
6 講習会	
7 イベント	
8 展示解説	
9 学校との連携	
10 博物館実習	
11 インターンシップ	
12 職場体験学習	
13 サークル育成活動	
14 ボランティア活動	
15 博物館関係職員等研修会	
16 出前講座	

IV	共催事業等	57
V	出版	58
1	長野県立歴史館たより	
2	研究紀要	
3	その他	
VI	閲覧・情報提供	60
1	図書等資料	
2	情報提供	
VII	調査研究	61
1	調査研究の体制と内容	
2	学芸研究会	
3	時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	63
1	資料収集の方針	
2	展示資料	
3	考古資料	
4	文献史料	
IX	広報	69
1	広告・案内	
2	記事・報道	
資料		
I	資料利用	75
II	閲覧利用・情報利用	75
III	利用者	75
IV	収蔵史資料数	79
日誌		81

一 概 要

1 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63）4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元）7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2）10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
1990年（平成2）11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3）4月……開館準備専任職員配置
1991年（平成3）5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4）9月24日…起工式
1994年（平成6）5月……建設工事完成
1994年（平成6）8月……展示工事完成
1994年（平成6）11月03日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
11月 資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）。

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－」
8月 特別展示「終戦日8月15日と長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施。

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－」

1997年1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施。

- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化－シルク^①の歴史と文化－」

1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。
歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展
- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年特別展「信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡－江戸時代 信濃の科学技術－」
- 11月 開館5周年記念式典挙行

2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器・里帰りした信州の出土品－重文新指定御代田町川原田遺跡出土品とその周辺－」

2000 (平成12) 年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画

- 7月 木曾セミナー
- 7月 夏季企画展「千曲川歴史紀行－ともに生きた人びとの記録－」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち－信遠古道をたどる－」
- 12月 長野県人権啓発センター開所（講堂棟）
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」（共催事業）
- 3月 ホームページ全面更新 独自ドメイン（www.npmh.net）取得

2001 (平成13) 年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう－十九世紀北信濃の文芸ネットワーク－」
- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」（共催事業）

2002 (平成14) 年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」（共催事業）

2003 (平成15) 年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館として初めてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増加となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOS ふるさと文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」同時開催「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

2004 (平成16) 年度

開館10周年の節目の年に当たり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い 人びとの祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2004」(共催事業)

2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀-GHQ 接收刀剣の輝き-」

7月 夏季企画展「地下4mの「縄文伝説」-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-」飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか

10月 秋季企画展「信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた-」

11月 特別公開「六角木幢-極楽浄土への道しるべ-」(共催事業)

2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具-身だしなみとよそおい-」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2006」(共催事業)

2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代-神津猛・米山-政資料を中心に-」

7月 夏季企画展「幕末の信州-時代を駆けた草莽たち-」

9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち-信州の十五年戦争-」

11月 「信州の歴史遺産Ⅰ-新指定長野県宝と歴史館のお宝-」

2007年1月 冬季展「信濃の人形-いのりと願い-」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2007」(共催事業)

2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007-新発見考古資料速報展-」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館2年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見-長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから-」

7月 夏季展「絵地図の魅力-私の城下町-」

9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007-新発見考古資料速報展-」

10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」前期・後期

2008年1月 冬季展「信濃の人形展-雛人形と郷土の人形-」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2008」(共催事業)

2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

5月 春季展「うつわは語る -縄文から近世まで-」

7月 夏季企画展「大庄屋って何? -安曇郡・清水家文書の350年-」

9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝-」

2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2009」(共催事業)

2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰―流転と遍歴の動化―」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜―歴史を記録した先人たち―」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う―信州弥生文化の確立―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ―諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’―」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2010」（共催事業）

2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
- 7月 夏季展「あの世への想い―日本人はどのように埋葬されてきたか―」
- 9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺―古代に創建された松本平の二つの寺院―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ―文字のちから 墨書土器から新聞の時代まで―」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2011」（共催事業）

2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝―かたりつがれた御家の由緒―」
- 7月 夏季企画展「激動を生きぬく―信濃武士市河氏の400年―」
- 9月 秋季企画展「観光地の描き方―浮世絵版画から観光パンフレットまで―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅴ―郷土のお宝『重文・県宝』を見よう―」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2012」（共催事業）

2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民―三つの大日向をたどる―」
- 7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
- 9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器1万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼道具から雛人形まで―」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「掘ってわかった信州の歴史 長野県の遺跡発掘 2013」（共催事業）

2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点を置いた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下幸啓
- 6月 夏季企画展「信州の野球史―大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球―」
- 9月 秋季企画展「刃が語る信濃―武器、象徴、そして芸術へ―」
- 11月 冬季展「山国の水害―戊の満水と善光寺地震―」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州―パンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉―」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2014」（共催事業）

2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点を置いた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器

展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」

9月 秋季企画展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季企画展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945―疎開・動員体験と上原良司―」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新―残された明治初期の町村地図―」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画「長野県民の1945―疎開・動員体験と上原良司―」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史―発掘された木製品、樹木信仰にみる3万年の歴史―」

12月 冬季展「地図の明治維新―残された明治初期の町村地図―」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座 in 千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展・埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃国の城と城下町―発掘調査が謎を解く―」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年より74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道―失われた鉄道の軌跡―」

9月 秋季企画展「木曽の宝―文化の十字路―」

12月 冬季展「信濃国の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘 2017」

2017(平成29)年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア 2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」は昨年に続き伊那(伊那文化会館)・安曇野(豊科郷土資料館)・佐久(浅間縄文ミュージアム)で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ(約5,300～5,100年前)における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曾地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日(土)を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料(「きそのぐわんしょ」)の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日(2.5時間×4日)、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト(『日常生活からひもとく信州』)を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」

9月 秋季企画展「縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘 2018」

2018(平成30)年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井冽の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！ー水辺の出会いー」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石ー先史社会の石材獲得と流通ー」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」

2019(令和元)年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日(土)から11月10日(日)まで実施した特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇を展示した。入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所で実施しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期展開催に向けて多大な支援を頂いた。特別企画土偶展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化として、11月22日山梨県立考古博物館、同23日群馬県立歴史博物館と連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

4月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学ー時代を映す“匠”の技ー」

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代ー長時・貞慶・秀政ー」

10月 特別企画土偶展 前期展「国宝土偶ー縄文文化の多様な個性ー」

後期展「中部高地の土偶ー暮らしに寄り添う小さな女神ー」

2020年3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

2020(令和2)年度

笹本正治館長は特別館長に役職を改め、引き続き館運営の指導にあたった。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月15日(水)から5月6日(水)、さらに延長して5月31日(日)までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については7月31日(金)まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で3回(3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曽・箕輪の3箇所で実施しいずれも好評であった。

6月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10月27日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した。

3月 春季展「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

7月 夏季企画展「地酒王国 信州」

9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生ー信州と北部九州ー」

2021年1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折ー伊那谷から世界へ」

3月 所蔵品展「至宝の名品ー学芸員のイチ押し 絵画工芸編ー」

2021(令和3)年度

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、9月3日(金)から9月12日(日)まで臨時休館せざるを得ない状況となった。学校見学や館主催の講座などは、昨年度からの人数制限や事前申込の対応を引き続き行い、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展については、コロナ禍での影響を受けつつも、資料選定や展示に工夫をして開催することができた。夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」は、県内すべての教育会の丹念な調査をもとにした新視点からの展示などを行い、日を迫うにつれ来館者が増加するなど高い関心を呼んだ。秋季企画展「全盛期の縄文土

器」では、県外から借用した国宝・重要文化財の展示もあったが、それに劣らぬ県内縄文土器の魅力を発信することに重きを置いた。冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」も、本県ゆかりの人物に焦点をあてる目的で平成29年度より行っている企画展の一環であり、いずれも県立博物館として、本県の歴史を紐解き県民の文化に寄与することを考えての企画である。すべての企画展で展示図録が期間終了を待たずに完売するなど非常に好評であった。

講座は、信州学講座として歴史館で6回、出前講座として上田・安曇野(飯山は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)の2箇所で開催した上で実施であったが、いずれも好評であった。

11月には、県内自治体では昨年の千曲市に続いて2例目となる連携協定を、須坂市と締結した。これは当館の基本目標である「県内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割充実」活動の一環であり、具体的活動として11月21日を「須坂市民の日」に設定し、須坂市民観覧料無料、当館所蔵の須坂市関連資料の特別公開などを実施した。多くの須坂市民が来館した。今後は史資料の貸借や人的交流などを行う予定で、これを更なる連携強化を進める上でのモデルケースとしていきたい。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 絵画工芸編一」

7月 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 一創られた大陸の夢」

9月 秋季企画展「全盛期の縄文土器一圧倒する褶曲文一」

2022年1月 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 一師友とその時代」

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチオシ 考古資料編一 大地からのメッセージ」

2022(令和4)年度

臨時休館こそなかったが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きかった。当館の所在する長野圏域に最大の警戒レベル5が発出された際には、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止の対応としたが、その日数は、本年度開館日288日中144日に及んだ。これは、何より来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた結果である。

企画展については、コロナ禍における様々な影響を想定し、資料の借用を早くから計画的に行うなど工夫を重ね、すべて開催することができた。

夏季企画展「山伏・佐久の修験 大井法華堂の世界一」は、古文書・仏像などに加え、お堂まで展示し、展示室に修験の世界を体感できる空間を作り上げ、非常に好評であった。秋季企画展「諏訪と武田氏」は、本年が7年に一度の御柱祭開催という年、冬季企画展「高遠藩の遺産一最後の藩主が残したもの一」は、展示の中心をなした宮田村指定文化財が長野県宝に指定されるなど、タイムリーな展示となった。今年度の企画展は、佐久、諏訪、高遠といずれも県内地域を取り上げ、地元との連携をより深めることができた。県内博物館として、県内地域との連携、県民の文化向上は第一の使命であり、今後も、地域と結びつく活動をさらに続けていく。

当館主催の講座についても、新型コロナウイルス感染症対応として、人数制限・事前申込・検温・消毒などを講じた上で開催した。古文書講座では、募集開始2日で定数満杯になる講座があった。信州学講座や企画展講座でも、事前に定数に達するものが多く、いずれも好評であった。コロナ禍においても県民の学習意欲に変わるところはないばかりかむしろ高まったと感じるほどであった。

今後もこういった声に応えるべく、当館で行う企画展や県立歴史館講座の内容をさらに充実させると同時に、外部向けのお出かけ歴史館や職員出前講座、地域展などのアウトリーチ活動を広く周知することで、県立歴史館としての使命・役割を一層果たしていく。

「歴史館パートナーの日」として、6月11日に「Goolightの日」、1月21日に「KOAの日」を実施した。

近年、社会情勢の変化により、近世・近代文書の散逸が進んでいる。県民にとって重要な資料の散逸防止措置の一環として、クラウドファンディングに取り組んだ。12月16日から2023年3月15日までの90日間「武田晴信書状購入プロジェクト」を実施し、315万円の目標設定に対し334万円の寄付をいただいた。資料は令和5年度に購入し、県民への披露の機会を計画する予定である。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 考古資料編一 大地からのメッセージ」

7月 夏季企画展「山伏・佐久の修験 大井法華堂の世界一」

10月 秋季企画展「諏訪と武田氏」

2023年1月 冬季企画展「高遠藩の遺産 一最後の藩主が残したもの一」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編 一読めなくても面白い一」

2023(令和5)年度

今年度は新型コロナウイルス感染症が5月8日より5類感染症へ移行された。歴史館も年度途中より規制を緩和しほぼ通常通りの運営となったが、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。企画展については、すべて開催することができた。夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」は、展示室での解説動画上映、森將軍塚古墳をプリントした古墳マットを設置するなど新たな展示手法を取り入れ

た。また、フォトコンテストなど新たなイベント等を通じて現地に残る古墳来訪を促す工夫も取り入れた。秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」は、県内のやきもの資料を集成し、図録を含め、歴史的な側面からまとめることができた点は、大きな成果だった。冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」は、特定の女性にスポットを当てた初めての企画展であった。シルクラベルの展示も好評であった。

「歴史館パートナーの日」として、11月19日に「須坂市民の日」、1月20日に「KOAの日」を実施した。

昨年度実施したクラウドファンディングで購入した「武田晴信書状」を披露するため、8月11日に笹本特別館長の講座と特別閲覧会を行い、好評を博した。

3月 所蔵品展「至宝の名品 ー学芸員のイチ押し 古文書編～読めなくても面白い～」

7月 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」

10月 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」

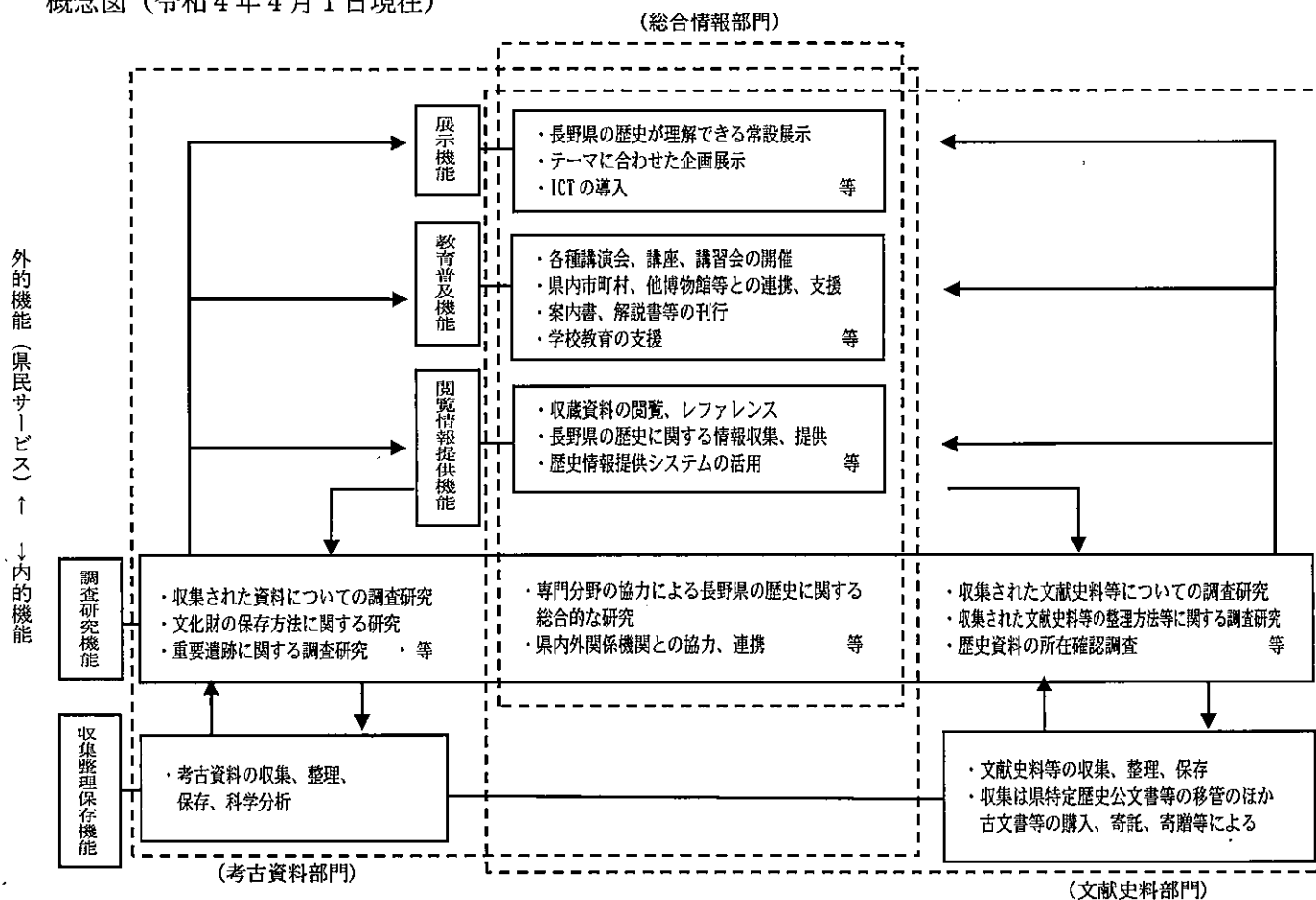
2024年1月 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

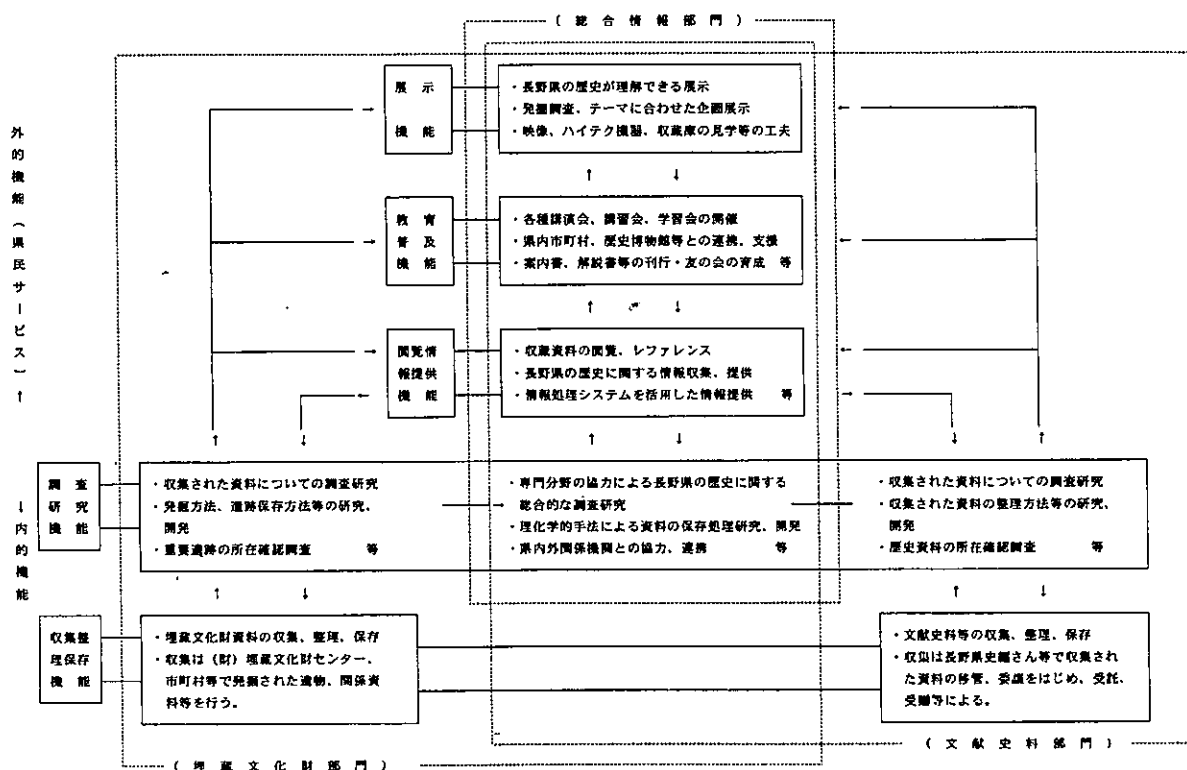
II 機能・組織・運営

1 機能

概念図（令和4年4月1日現在）



<参考> 県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）



建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、

受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m²
（用途別内訳）
建物面積 6,500 m²程度
駐車場 4,500 m²程度
外構面積 6,500 m²程度
屋外展示 2,000 m²程度

6 施設の概要

建築面積 6,500 m²程度
延べ床面積 10,000 m²程度
（部門別内訳）
総合情報部門 3,100 m²程度
埋蔵文化財部門 2,750 m²程度
文献史料部門 1,850 m²程度
管理部門 2,300 m²程度

7 建設計画

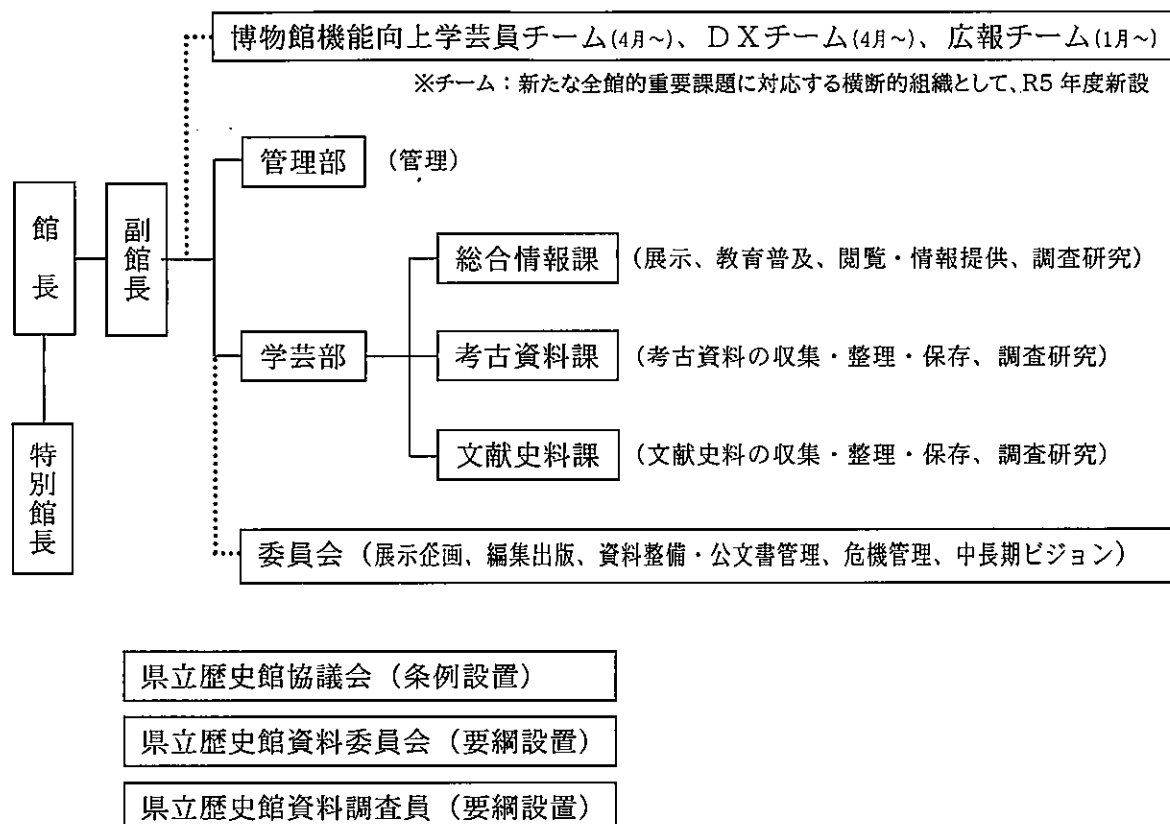
平成4年 着工
平成5年 完成
平成6年（春） 開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図(令和5年度)



○事務分掌

部 課	分 掌 事 務
管理部	(1) 庶務及び会計に関すること。 (2) 組織及び人事に関すること。 (3) 施設、設備の維持管理に関すること。
学芸部	総合情報課 (1) 歴史的資料（考古資料及び文献史料を除く。）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 歴史に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること。 (4) 各種刊行物の編集及び出版に関すること。
	考古資料課 (1) 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 考古資料の保存処理及び科学分析に関すること。 (3) 考古資料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (4) 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること。
	文献史料課 (1) 文献史料（古文書、行政文書等）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 文献史料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること。

3 運 営

1 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料（古文書、行政文書）、その他の歴史資料を収集、整理、保存及び調査研究し、展示及び閲覧等により県民に公開、情報提供するとともに、県民の文化財に対する理解の促進や歴史学習を支援する役割を担うことにより、県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

2 事業計画の概要

(1) 重点事業

- ア 展示の見直し、施設・設備の更新・環境整備など、館のリニューアルに向けた検討の推進及び可能な事項の実施
- イ 博物館機能強化のための学芸員有資格者の専門性発揮による業務推進体制の構築
- ウ 収蔵資料のデジタル・アーカイブ化及び公開の推進
- エ 他の博物館や県内市町村等と連携した事業の推進
- オ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した業務運営による安全・安心の確保

(2) 歴史資料の収集・整理・保存

- ア 信州にゆかりのある歴史資料の収集、整理及び保存
- イ 考古資料の整理・保存処理及び科学分析
- ウ 長野県の行政文書（特定歴史公文書を含む。）の整理及び保存

(3) 調査研究

- ア 今後の展示計画も想定した長野県の歴史に関する調査研究
- イ 他団体等との共同研究 ・長野県行政文書研究会 ・長野県青年運動史研究会

(4) 展示・閲覧・情報提供

- ア 展示の充実
 - (ア) 常設展示（計画的な展示替え）
 - (イ) 企画展示
 - a 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編～読めなくても面白い～」(3/18～5/28)
 - b 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」(7/1～8/20)
 - c 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」(10/8～11/20)
 - d 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」(1/13～2/25)
- イ スマートフォン等で利用できる展示解説アプリの開発
- ウ 収蔵資料のデジタル化と閲覧の推進（展示資料、考古資料、古文書、特定歴史公文書 等）
- エ 歴史資料の貸出し
- オ 他団体との連携
 - (ア) 県内外博物館、県内市町村等との連携協定の締結、連携事業の推進
 - (イ) 信州大学との連携による研究・展示等の充実
 - (ウ) 他団体との連携による講座（信濃史学会 信州近世史セミナー 等）の開催
 - (エ) 長野県ケーブルテレビ協議会との連携による主要講座の県内への発信
 - (オ) 「歴史館パートナーの日」（企業・自治体協賛）の開催
- カ 収蔵資料に関するレファレンス
- キ 体験学習及びイベントの開催（歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み、開館記念日 等）
- ク 刊行物の発行（研究紀要、ブックレット、収蔵文書目録、県立歴史館たより 等）
- ケ 県立歴史館ホームページ、SNS等を活用した情報提供
- コ 歴史情報のマスコミを通じた発信（信毎コラム「しなの歴史再見」 等）

(5) 教育普及（学校教育・生涯学習支援等）

- ア 学校見学の充実（解説・施設見学）
- イ おでかけ歴史館（子ども向け、原則として南信・木曽地域の学校・公民館等）
- ウ 各種講演・講座（アウトリーチ型を含む。）の充実
 - 県立歴史館（4回）、出前講座（2回）、考古学講座（5回）、特設考古学講座（3回）、考古学探訪会（1回）、古文書講座（25回）、ティーンズ古文書講座（2回）、古文書フォローアップ講座（2回）
 - 県立歴史館出前講座（一般向け）
- エ 地域展示（市町村の博物館・公民館等公共施設）
- オ 技術講習会の実施（考古資料保存技術講習会、文献史料保存活用講習会 等）
- カ 職場体験学習・インターンシップ、博物館実習、教職員研修等

(6) ボランティアの活用・育成

各種事業活動（展示解説、資料整理・保存、図書整理、体験イベント等）の支援

(3) 職員名簿（令和6年3月31日現在）

参事 兼 館長 塩沢 宏昭		—— 特別館長 笹本 正治、	
副館長 新津 尚治			
管理部長 塩沢 宏昭（兼）		学芸部長 新津 尚治（兼）	
管理部		総合情報課	
課長補佐 棚秋 明美		課 長 小野 和英	
主 事 田村 真人		専門主事 黒川 稔	
主 事 東福寺 一司		専門主事 河野 智枝	
職 員 手島 良子		専門主事 内城 正登	
職 員 大日方恭子		専門主事 小林 寿英	
職 員 丸山 洋子		主任・文化財専門員 柴田 洋孝	
職 員 高橋 幸人		主任・学芸員 林 誠	
		専門主事 町田 勝則	
		主 事 飯島 公子	
		職 員 六川 成美	
		職 員 小松 亜紀	
		考古資料課	
		課 長 櫻井 秀雄	
		専門主事 水澤 教子	
		主査・文化財専門員 石丸 敦史	
		専門主事 白沢 勝彦	
		職 員 小林 伸子	
		職 員 半田 和廣	
		職 員 島田 久美	
		職 員 柄澤 登紀子	
		職 員 清水 秋子	
		職 員 中山 直子	
		文献史料課	
		課 長 村石 正行	
		専門主事 花岡 康隆	
		専門主事 新井 寛子	
		専門主事 鈴木 実	
		職 員 北島 祥至	
		職 員 宮坂 由紀夫	
		職 員 土屋 英夫	
		職 員 佐藤 敦	
		職 員 児玉 武志	
		職 員 西澤 美代子	
		職 員 小山 麻里	
		職 員 水野 聖也	
		職 員 酒井 亮	

（注）「特別館長」及び「職員」は、「会計年度任用職員」

(4) 長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏 名	役 職
植田 平	公募
浮貝 貴子	公募
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員
久留島 浩	国立歴史民俗博物館名誉教授
後藤 芳孝	信濃史学会会長
酒井 賢一	千曲市森將軍塚古墳館館長
佐藤 真耶	特定非営利活動法人エリアネット理事
三井 有奈	坂城町教育委員
矢島 宏雄	長野県考古学会副会長
山崎 俊子	千曲市立東小学校校長

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
小須田基弘	佐久市・南佐久郡
牧野 和人	小諸市・北佐久郡
倉澤 正幸	上田市・東御市・小県郡
高見 俊樹	岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡
唐木 孝雄	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡
前澤 健	飯田市・下伊那郡
遠藤 正教	松本市・塩尻市・東筑摩郡
伊藤 信一	安曇野市・東筑摩郡
小林 茂喜	大町市・北安曇郡
中島 丈晴	千曲市・埴科郡
天野 義孝	須坂市・上高井郡
寺島 正友	中野市・下高井郡
田玉 徳明	長野市・上水内郡
小柳 義男	長野市・上水内郡
望月 静雄	飯山市・下水内郡

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員（五十音順）

氏 名	役 職	分 野
浅倉 有子	上越教育大学特任教授	中世・(近世)
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東京大学史料編纂所准教授	中世
織田 顕行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員	民俗
原田 和彦	長野市立博物館学芸員	古代・中世

4 関係法規

長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

(職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第23条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

(使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

(使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年3月20日条例第3号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

(開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあつては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を閲覧する場合にあつてはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

(閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧

に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県教育委員会事務局及び学校以外の教育機関の組織に関する規則

昭和53年3月31日教育委員会規則第4号

【必要部分のみ抜粋】

第8節 歴史館

(業務)

第33条の2 長野県立歴史館は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等(第33条の4第3項において「歴史的資料」と総称する。)を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与することを業務とするところである。

(位置)

第33条の3 長野県立歴史館の位置は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、千曲市である。

(内部組織)

第33条の4 長野県立歴史館に、その事務を分掌させるため、管理部及び学芸部を置く。

2 管理部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 庶務及び会計に関すること。
- (2) 長野県立歴史館協議会の庶務に関すること。
- (3) その他学芸部の所管に属さないこと。

3 学芸部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 歴史的資料の展示及び閲覧に関すること。
- (2) 歴史に関する各種刊行物の編集に関すること。
- (3) 考古資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の保存処理及び保存科学に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (6) 文献史料(歴史的価値を有する文書その他の記録をいう。以下この項において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (7) 文献史料に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (8) 歴史的資料(考古資料及び文献史料を除く。次号において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (9) 歴史的資料に関する調査研究に関すること。
- (10) その他歴史に関する教育の普及、情報の収集及び利用者への提供並びに相談に関すること。

4 学芸部に、その事務を分掌させるため、課を置き、その名称及び分掌事務は、次の表のとおりとする。

名称	分掌事務
総合情報課	前項第1号、第2号及び第8号から第10号までの事項
考古資料課	前項第3号から第5号までの事項
文献史料課	前項第6号及び第7号の事項

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会設置要綱

(設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

(委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

(任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

(調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

(調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

(守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしはならない。

(会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設

敷地面積 19,396 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

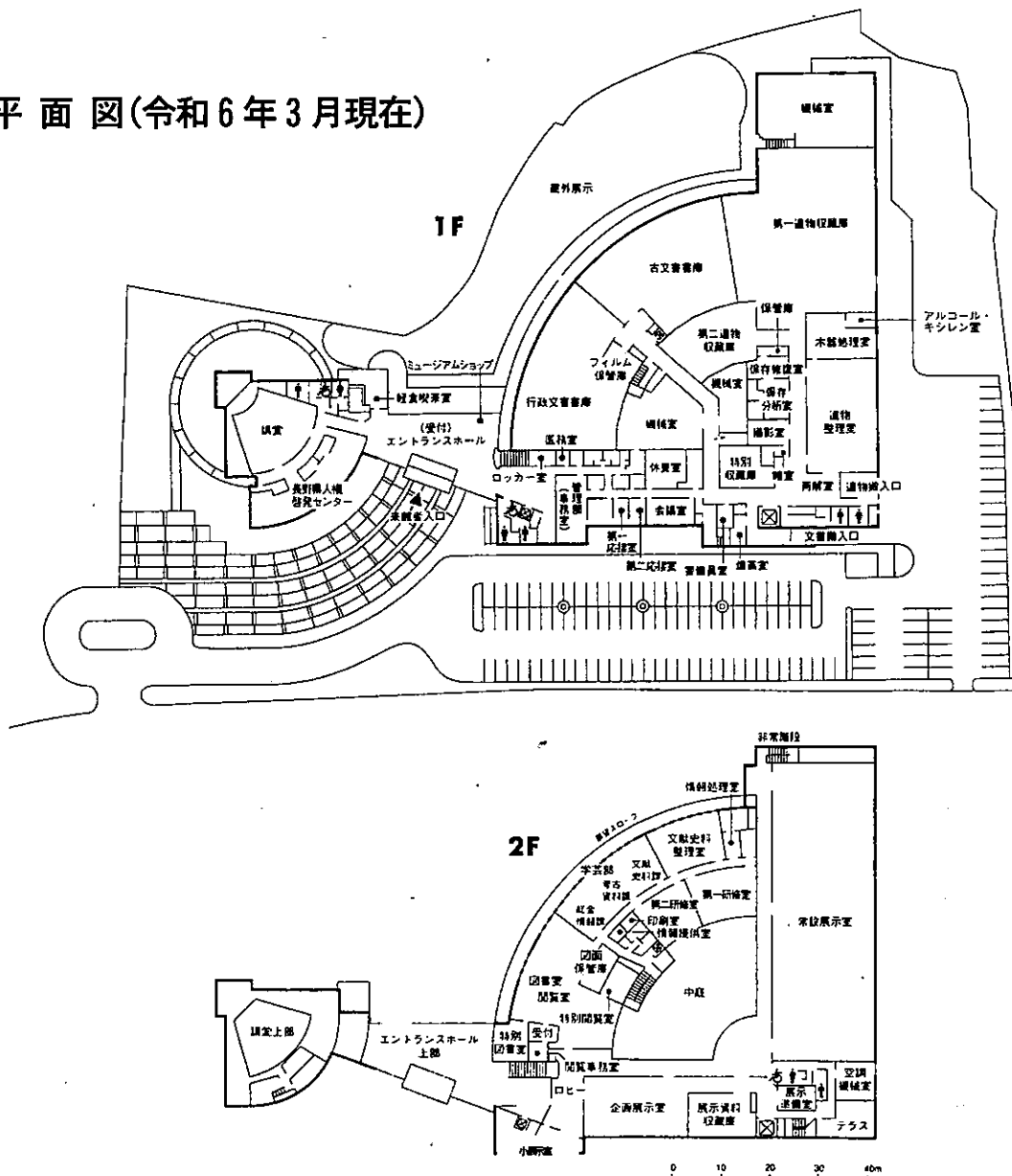
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図(令和6年3月現在)



2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 芸 部 門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
学 芸 部 門	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な史資料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

一 事 業

I 令和5年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自主事業	常設展	年間(288日)	24,493	
	所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	4月1日～5月28日	4,683	5340(3月～6月) - 657(3月)
	夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」	7月1日～8月20日	4,936	
	秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」	10月7日～11月26日	4,185	
	冬季企画展「和田英～糸づくりに懸けた明治の女性～」	1月13日～2月25日	2,478	
	所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	3月23日～(3月31日)	565	
	企画展関連講演会等 14回実施	7月～2月	991	
	県立歴史館講座 4回実施・クラウドファンディング講座	5月～3月	326	
	県立歴史館の信州学出前講座in箕輪・大桑	9月～11月	43	
	考古学講座 5回実施・特設考古学講座 3回	4月～1月	26	考古学講座は企画展関連講演会に含む
	古文書講座 29回実施	5月～3月	868	ティーンズ、フォローアップ含む
	出前講座 43回実施	4月～3月	1,880	
	お出かけ歴史館 4回実施(小学校・公民館等)	8月～3月	106	
	各種講習会・イベント 9回実施	5月～3月	1,735	こどもの日、夏休み、企業連携、クリスマス映画会、考古講習
	その他 史資料等の閲覧	4月～3月	2,446	
	考古学セミナー	5月	50	長野県考古学会
	近世史セミナー	12月	40	信濃史学会
共催事業等	長野県史料保存活用連絡協議会講習会 3回実施	6・11・1月	117	県史料協
	古文書愛好会 読む会 8回実施 演習 23回実施 総会講演会 探訪会	6～2月	706	古文書愛好会
	信州大学学芸員資格取得講座(博物館展示論・メディア論)	9月・2月	62	信州大学
	博物館関係職員等研修会	2月	122	県博協
	長野県埋蔵文化財センター速報展	4～5月	1,791	県埋蔵文化財センター
	長野県総合教育センター研修	7月	14	県総合教育センター
	「山ノ内の縄文」協力展示	2月20日～3月15日	1,507	
	地域展他連携展示(3町村、中央4県、団体等)	7月～12月	12,363	
	計		66,533	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的、総合的な歴史研究の成果を生かして、わ

かりやすく楽しく学び、考えることのできる展示とする。

② 常設展示の方法

常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、中テーマと小テーマ、二つのテーマを設けて展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから再開した。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示

「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和5年4月～令和6年3月	ヒノキ立林、植生
	令和5年4月～令和6年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代（旧石器時代）の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和5年4月～令和6年3月	ナウマンゾウ模型（実物大環境復原）、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	令和5年4月～令和6年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡・大久保南遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和5年4月～令和6年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万6,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。約5,500～4,500年前の縄文中期、信州は列島最大規模の人口密集地となった。展示前半は草創期から早期、後半は前期・中期、そして後期の順に生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和5年4月～令和6年3月	中島B遺跡・東裏遺跡他の草創期～早期の尖底土器・石器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具（複製） 他
定住のはじまり	令和5年4月～令和6年3月	松原遺跡土器・石器・装身具、大洞遺跡黒曜石原石 他
華やかな土器文化と生業	令和5年4月～令和6年3月 (※令和5年4月～11月、十日町市博物館との相互貸借事業)	郷土遺跡土器・石器、屋代遺跡群動物・魚骨、土器・石器、県宝「曾利遺跡水煙文土器」（複製）、「国宝土偶「縄文のビーナス」（複製） 他

		(※十日町市森上遺跡出土の火焰型土器)
寒冷化する環境の中で	令和5年4月～令和6年3月 (※令和5年4月～11月)	国宝土偶「仮面の女神」(複製)、 北村遺跡土器・石器、円光房遺跡土 器・石器、氷遺跡土器、大日ノ木遺 跡土器・石器 他 (※円光房遺跡出土品は千曲市から借用)
縄文のムラ(環境復原)	令和5年4月～令和6年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植 栽・動物 他

中テーマ 稲をつくった弥生人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和5年4月～令和6年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・ 石器、森平遺跡石器、柴宮遺跡銅鐸 (複製) 他
土偶の変容	令和5年4月～令和6年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土 器、松原遺跡人面付土器他

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。その力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和5年4月～令和6年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和5年4月～令和6年3月	松原1号墳大刀、馬具・勾玉、伝竹 原笹塚古墳馬具、馬具装着馬(複製) 他
朝鮮半島からの文化	令和5年4月～令和6年3月	大室古墳(複製)、天冠(複製)、 帯金具(複製) 他

古代・信濃国のなりたちと人びとの暮らし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和5年4月～令和6年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和5年4月～令和6年3月	木製農具(鍬、鋤、杵、槌、えぶり)
条里水田	令和5年4月～令和6年3月	グラフィックパネル

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識した暮らしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東山道を結ぶ	令和5年4月～令和6年3月	藤原宮木簡(複製)、平城京木簡(複製)、長岡京木簡(複製)、延喜式(九条家本・複製)
屋代木簡の世界	令和5年4月～令和6年3月	屋代遺跡群出土木簡・木製祭祀具(複製)、屋代遺跡群⑥区発掘調査模型

中テーマ 平安時代の村の暮らし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らの暮らしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	令和5年4月～令和6年3月	須恵器大甕、銅印(複製)、円面硯、帯金具、墨書土器
	令和5年4月～令和6年3月	吉田川西遺跡出土緑釉椀・緑釉皿・土師器皿(重要文化財)
	令和5年4月～令和6年3月	貞観寺田地目録(複製)、極楽寺鰐口・馨(複製)

中世 信濃武士と百姓の暮らし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
合戦図と武士の世界	令和5年4月～11月	川中島合戦図屏風、軍扇（寄託）
木曾義仲と荘園	令和5年11月～12月	木曾義仲合戦図屏風
太刀と刀	令和6年1月～3月	太刀（銘不明）、刀（銘信舎）

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和5年4月～令和6年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 （実物大環境復原）	令和5年4月～令和6年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとり入れた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
商人と市	令和5年4月～12月	一遍上人絵伝（複製）、宋銭・明銭、常滑焼
東アジアと信濃	令和6年1月～3月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図（複製）

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
城と城下町	令和5年4月～9月	職人尽図 松代城下町絵図、松代城出土品
大庄屋の仕事と暮らし	令和5年10月～令和6年3月	松本城下町絵図、火事装束、松川組旗
正保信濃国絵図	令和5年4月～令和6年3月	正保の信濃国絵図（複製）、信濃国郷村帳（複製）

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	令和5年4月～令和6年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	令和5年4月～令和6年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	令和5年4月～令和6年3月	ランドサット図
信州中馬	令和5年4月～令和6年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」
中山道福島宿	令和5年4月～9月	中山道福島宿絵図面（複製） 薬屋看板（複製）
信州の通船	令和5年10月～令和6年3月	千曲川通船川沿絵図 船形どり図面

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達し、生活が豊かになっていった。本を購入し、本から学ぶことも増えた。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
街道の風景	令和5年4月～9月	善光寺道名所図会
物見遊山	令和5年4月～9月	伊勢暦 御祓札 金毘羅御守
近世の学問	令和5年10月～令和6年3月	松尾多勢子関係資料 佐久間象山短銃
書肆と村びとの蔵書	令和5年10月～令和6年3月	書物値段付覚 書物目録
祭りの人形芝居	令和5年4月～令和6年3月	黒田人形、映像「黒田人形『鎌倉三代記』」

近現代 世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	令和5年4月～令和6年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、旧筑摩県下大区改正に付達指令（全）、旧筑摩県引継書（一、二）、筑摩県博覧会錦絵
お蚕さま	令和5年4月～令和6年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、蚕玉様の押絵
世界につながる蚕糸業	令和5年4月～令和6年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、シルクラベル
近代の製糸工場	令和5年4月～令和6年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条呂六工製糸場之図、工女募集告諭書、横浜

		開港之図、繰糸鍋
工女の生活	令和5年4月～令和6年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場（実物大環境復原）	令和5年4月～令和6年3月	ボイラー、水車、繰糸器
長野県の近代化遺産	令和5年4月～令和6年3月	近代化遺産写真パネル

中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	令和5年4月～令和6年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	令和5年4月～令和6年3月	出世双六、キューピー人形、たこ、戦争おもちゃ
戦前の観光信州	令和5年4月～令和6年3月	鳥瞰図『長野電鉄沿線温泉名所案内』 『諏訪大観』 ・観光パンフレット資料

中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃を受けた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	令和5年4月～令和6年3月	満州愛川村風景写真、黒台信濃村からの手紙、出陣日記、被弾した卓袱台、満洲視察講演草稿、満洲旅行の葉、満洲物産図、満洲更級郷開拓団の様子（スケッチ）陸軍3式戦闘機キ61「飛燕」模型 児玉勝子日記 昭和20年

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	令和5年4月～令和6年3月	扇風機、蓄音機、真空管式ステレオ、球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、木製冷蔵庫、電気冷蔵庫、ナショナルホームラジオ、4号電話機、オルゴール、腕時計、長野県の平成史パネル、

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

リース契約を更新した。昨年度、新型コロナウイルス感染症対応の影響で展示室から一時的に撤収していたが、感染対策（手指消毒用アルコールの設置）を講じ、再開。

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち		
中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	令和5年4月～令和6年3月	植栽

5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡 石棺墓の石組み
万葉の野	令和5年4月～令和6年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	令和5年4月～令和6年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

(3) 新規小テーマ

今年度なし。

2 企画展示等

- 2023 年所蔵品展 至宝の名品学芸員のイチオシ 古文書編一読めなくても面白いー

令和 5 年 (2023 年) 3 月 18 日 (土) ~ 5 月 28 日 (日) (開催日数 61 日間)

観覧者数 5,340 人

主催 長野県立歴史館

同時開催 長野県埋蔵文化財センター
速報展「掘るしん 2023」

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ (7 紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局・SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合・(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

当館の収蔵資料を多くの皆さまに知っていただきたいと 2021 年から所蔵品を分野ごとに紹介している。2023 年は古文書の魅力を十分に味わっていただけるよう「文書が読めなくても楽しめる古文書」を小テーマに展示する。

〈主な展示資料〉

重要文化財 1 件：鳥羽院庁下文 (吉田能民氏所蔵文書)、県宝 2 件：屋代遺跡群 15 号国符・114 号郡符木簡 (千曲市)、社宮司遺跡漆紙文書 (千曲市)、足利尊氏自筆書状 (府中小笠原文書)、徳川家康書状 (室賀家文書、下条家文書)、武田晴信書状、織田信長朱印状 (今清水家文書)、

豊臣秀吉朱印状 (依田家資料)、真田信之朱印状など

展示総数 30 点

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,100 部

チラシ A4 判 両面カラー 24,200 部

招待券 カラー 3,100 部

〈担当〉

主管課長 小野和英

総合情報課 黒川 稔 町田勝則

考古資料課 水澤教子

文献史料課 鈴木 実

● 夏季企画展

「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」

令和 5 年 (2023 年) 7 月 1 日 (土) ~ 8 月 20 日 (日) (開催日数 44 日間)

観覧者数 4,936 人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業共同組合、(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

長野県の古墳時代はどのような時代だったのか。「科野」、「信濃」等の記録が残る奈良時代より前、学問上「シナノ」と称されている時代、既に、シナノ各地で王が現れ、個性あふれる地域の営みが

展開されていた。

地勢的な位置から、中央集権の畿内勢力と、海を越えた大陸との挟間にあったシナノの王たちが造った古墳は、畿内の支配秩序のもとに揺さぶられながら、自らが地域経営でとった戦略の「主張」を示している。

古墳時代は、東アジアの動乱の最中にあった。当時の日本、すなわち「倭国」にとって、大陸からの鉄の流通、騎馬生産は、地域経営の重要な課題となった。シナノの王たちは、その課題に対して独自の対応をとった。

森將軍塚古墳は、鉄入手のために長野盆地で結んだ同盟関係を主張するものであった。やがて、北信地域の王たちはそれまでの畿内王権とのつながりを示す前方後円墳をやめ、方墳という形を採用することによって、交渉先を大陸へ向けたことを主張した。

一方で、南信地域の王たちは前方後円墳を採用し始め、馬生産のために畿内王権と強固に結びついたことを主張した。この企画展では、県内の主要な古墳に改めて注目し、それぞれの形や背景から、シナノの古墳の成り立ち、また、シナノの王たちがとった地域戦略と古墳に込めた「主張」を追っていく。

〈展示構成〉

《企画展示室》

I 畿内王権の描いた秩序

- (1) 卑弥呼の時代を映した鏡
- (2) 古墳の形・大きさの意味ー前方後円墳体制ー

II シナノの古墳のはじまり

- (1) 山の上に造られた古墳の始まり
- (2) シナノ最古の古墳
- (3) 共有される古墳づくりのルール

(4) 王のいた場所

III 北信の王と大陸～方墳の登場～

- (1) 方墳の登場
- (2) 北信の馬生産

IV 南信州の王と畿内王権

- (1) 前方後円墳の登場
- (2) 馬生産にみる古墳の階層構造

関連展

《通路》

飯田古墳群

〈主な展示資料〉

- ・重要文化財 大田南5号墳出土方格規矩四神鏡（京丹後市教育委員会蔵）、安源寺城跡遺跡出土品（中野市立博物館蔵）、北平1号墳出土品（当館蔵）、長野県宝 弘法山古墳出土品（松本市考古博物館蔵）、伝川柳將軍塚古墳出土品（当館蔵）、長野県宝 高遠山古墳出土品（中野市立博物館蔵）、和田東山3号墳出土品（長野市立博物館蔵）、大星山3号墳出土品（当館蔵）、石川条里遺跡出土品（当館蔵）、大星山2号墳出土品（当館蔵）、長野市指定文化財 飯綱社古墳出土品（長野市立博物館蔵（寄託））、長野県宝 フネ古墳出土品（諏訪市博物館蔵）、榎田遺跡出土品（当館蔵）、飯田市指定文化財 溝口の塚古墳出土品（飯田市考古博物館蔵）、飯田市指定文化財 宮垣外遺跡出土品（飯田市考古博物館蔵）、殿村遺跡出土品（飯田市考古博物館蔵）、群馬県重要文化財 剣崎長瀬西遺跡出土品（観音塚考古資料館蔵）

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

6/30（金）15:30～16:30 展示室前

出席者 大内保彦千曲市副市長、小林正春長野県考古学会会長、宮下利彦飯

田市教育委員会文化財保護活用課長、
山口利恵公益財団法人八十二文化財団、
岡田憲輔長野県教育委員会文化財・生涯学習課長

(2) 講演会

①「シナノの騎馬文化と古代東アジア」

7/29 (土) 13:30～15:00 講堂

諫早 直人氏 (京都府立大学准教授)

参加者 118 人

②「上野三碑にみる多文化共生と古墳時代社会」

8/5 (土) 10:00～11:30 講堂

須永 忍氏 (高崎市教育委員会)

参加者 35 人

(3) 講座

①考古学講座「中野の古墳に行ってみよう！～高遠山古墳と七瀬双子塚古墳～」

7/1 (土) 13:30～15:00 講堂

柳生 俊樹氏 (中野市教育委員会)

参加者 77 人

②考古学講座「松本の古墳に行ってみよう！～市民に愛される弘法山古墳と針塚古墳～」

7/15 (土) 13:30～15:00 講堂

小山 奈津実氏 (松本市教育委員会)

参加者 79 人

③考古学講座「諏訪の古墳に行ってみよう！～道の交わりと人・モノの交流～」

8/5 (土) 13:30～15:00 講堂

児玉 利一氏 (諏訪市博物館)

参加者 89 人

④考古学講座「飯田の古墳に行ってみよう！～馬がもたらした富と権力～」

8/19 (土) 13:30～15:00 講堂

春日 宇光氏 (飯田市教育委員会)

参加者 90 人

(3) 体験イベント

ワークショップ「古墳の設計図を描いてみよう」

7/22 (土) 13:30～、14:30～ (全2回)

参加者 15 人

(4) フォトコンテスト

「信州の古墳を撮る」

募集 6/1 (木) ～10/31 (火)

応募総数 109 作品

優秀賞作品 4 作品

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,100 枚

チラシ A4 判 両面カラー24,000 枚

フォトコンテストチラシ A4 判 両面カラー24,000 枚

招待券 カラー 3,500 枚

図録 A4 判 カラー144 頁 1,500 部

〈担当者〉

主管課長 櫻井秀雄

考古資料課 石丸敦史 水澤教子

白沢勝彦

総合情報課 町田勝則 飯島公子

●秋季企画展

「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」

令和5年(2023年)10月7日(土)～11月

26日(日)(開催日数44日間)

観覧者数 4,185 人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、

読売新聞長野支局、毎日新聞長野支

局、産経新聞長野支局、中日新聞社、

長野市民新聞社、市民タイムス、市

民新聞グループ、長野日報社

南信州新聞社、NHK長野放送局、S

B C信越放送、NBS長野放送、TS

Bテレビ信州、a b n長野朝日放送、

(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、

FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線
放送電話農業協同組合、(公財) 八十二文化財団

〈展示趣旨〉

私たちの生活の中に根付いている「やきもの」。信州では縄文時代以降、各地域で「やきもの」が作られ、地域文化の発展や外来文化・技術の流入によって、多くの変化をたどってきた。鎌倉時代から室町時代にかけて、全国各地で作られた地域の「やきもの」は、六古窯(常滑・瀬戸・越前・信楽・丹波・備前)を残して多くがその火を消していくことになり、信州も地域の窯が減少していき、次第に「やきもの」が焼かれなくなっていく。

江戸時代になると、南信地域を皮切りに信州各地で隣国の瀬戸・美濃地域の技術を取り入れながら窯が築かれ、新たな信州の「やきもの」が作られるようになった。製品は甕やすり鉢といった生活雑器が中心で、見た目は素朴で武骨な印象を受けるものが多い。職人たちは信州で産出する限られた陶土を最大限活用し、試行錯誤を繰り返しながらも地域の人々の生活を支えるために「やきもの」を作っていた。その「素朴さ」と「武骨さ」が信州の「やきもの」の特徴の一つである。

江戸時代後期から幕末にかけては、松代藩や須坂藩など藩が主導して焼かせた「御庭焼」や、県内では貴重な磁器の生産も試みられるなど、信州の「やきもの」は生活雑器としての役割を超えてその幅を広げていく。そして、明治時代になると、信州を代表する産業である製糸業で使われた糸繰鍋や、鉄道トンネル用の煉瓦の製造など、地域社会の発展を「やきもの」が支えていった。しかし、地域が発展し安価な良品がもたらされたことで、皮肉にも信州の「やきもの」の多くは再び姿を消していった。

今回の展示では、江戸時代から明治時代までの信州の「やきもの」をはじめ一堂に集め、北から南にわたる数々の「やきもの」から人々の交流や生活の様子を読み解く。また、その歴史・文化を引き継ぎ、価

値を再認識しようとした現代の職人や、地域の人々の取り組みにも着目し、地域の魅力を掘り下げる。

〈展示構成〉

《企画展示室》

第1章 「やきもの」信州へ

第2章 信州の「やきもの」たち

【南信地域】

【中信地域】

【東信地域】

【北信地域】

《小展示室入口》

やきものふたたび(パネル展示)

地域の取り組み(パネル展示)

《小展示室》

やきものの製作工程と窯跡の出土品

〈主な展示資料〉

古瀬戸瓶子(松本市立博物館蔵)、筑北村
向六工遺跡出土瀬戸美濃丸皿(当館蔵)、
古尾林焼・風越窯(飯田市考古博物館蔵)、
尾林焼(個人蔵)、高遠焼(伊那市立高遠
町歴史博物館蔵)、相道寺焼(個人蔵)
浅間焼(個人蔵)、洗馬焼・入道焼・信斎
焼(本洗馬歴史の里資料館蔵)、染谷焼(重
要有形民俗文化財)、下郷焼(上田市立
博物館蔵)、前山焼(個人蔵)、松代焼(真
田宝物館蔵)、上松焼(個人蔵)、吉向焼
(田中本家博物館蔵)、藤沢焼(個人蔵)、
瀬戸獅子香炉(根津美術館蔵・重要美術
品)、狛犬(八重河内正八幡神社蔵)、元
屋敷遺跡出土品(美濃陶磁歴史館蔵・重
要文化財)、黄瀬戸・志野・鳴海織部(可
児郷土歴史館蔵)、顔料・テストピース(瀬
戸蔵ミュージアム蔵)

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

10/6(金) 展示室前

出席者 小松学塩尻市立平出博物
館長 田中和仁豪商の館田中本家
博物館長 坂部詠章上田市立博物
館長 関昇一郎長野県副知事 新
井武志長野県議会議員、竹内正美長

野県議会議員

(2) 講演会

「やきものって何!?縄文のビーナスから
善光寺寄進染付燈籠・・・まで」

10/21(土) 13:30～15:00 講堂

仲野泰裕氏(元愛知県陶磁美術館副館
長)

参加者 50 名(申込制)

(3) トークセッション

「松代焼の復興について～唐木田又造の
足跡～」

11/11(土) 13:30～14:30 講堂

唐木田伊三男氏(唐木田陶園)・柴田洋孝
(企画展担当者)

参加者 35 名(申込制)

(4) 体験イベント

「やきもの体験!～松代焼を作って
みよう～」

10/28(土) ①13:30～14:30 ②15:
00～16:00 遺物整理室

参加者 11 組 26 人(申込制)

協力 松城陶苑

(5) 体験コーナー

「やきものを撮ってみよう!」

開催期間中常設 企画展示室前

小皿・食品サンプルを用意。来館者
自身のスマートフォンやカメラを
使用し、焼物の写真を撮影してもら
い、形や色による見栄えや、ライテ
ィングの違いなどを体験。

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,000 枚

チラシ A4 判 両面カラー 18,000 枚

招待券 カラー 3,000 枚

図録 A4 判カラー128 頁 1,200 部

〈担当〉

主管課長 小野和英

総合情報課 柴田洋孝 河野智枝 林誠

●冬季企画展

「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女

性～」

令和6年(2024年)1月13日(土)～2月25

日(日)(開催日数38日間) 展示替え2
月4日(日)

観覧者数 2,478人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総

局、読売新聞長野支局、毎日新聞長

野支局、産経新聞長野支局、中日新

聞社、長野市民新聞社、市民タイム

ス、市民新聞グループ(7紙)、長野

日報社、南信州新聞社、NHK長野

放送局、SBC信越放送、NBS長

野放送、TSBテレビ信州、abn

長野朝日放送、(一社)長野県ケー

ブルテレビ協議会、FM長野、FM

ぜんこうじ、屋代有線放送電話農業

協同組合、(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

近代日本の輸出主力商品であった生糸。明
治政府は富岡製糸場の建設を計画し、器械
製糸の技術習得と富岡を範とする工場が日
本各地に建設されることを期待した。

当時15歳だった和田(横田)英も父の説
得に応じ富岡製糸場で技術を習得、西条村
六工に建設された六工製糸場や県営製糸場
で製造や技術指導の中心となって活躍した。

和田英が記した「富岡日記」「富岡後記」
は、富岡製糸場及び六工製糸場における生
糸製造や工女の生活を詳細に記したもので
あり、近代製糸業の実情を知る上で大変貴
重な史料である。また、和田英の書簡(初
公開)や春日蝶の日記、富岡製糸場から発
掘された史料によって工女を中心とした当
時の人々の様子が明らかとなってきた。

今企画では、①松代の窮状や母を中心と
する家族とのつながりが和田英の生き方に
大きく影響を与えたこと、②糸づくりのみ

ならず、食事や化粧、休日の楽しみなど、富岡における工女の生きた様子、③和田英が指導し、地元の工女がつくった糸は、日本・世界で認められる品質になったことを伝えたい。

〈展示構成〉

《企画展示室》

第1章 英が育った幕末～明治の松代

第2章 英を育んだ横田家の人々

第3章 富岡製糸場と工女たち

第4章 和田英と六工社

《小展示室》

館蔵シルクラベル大公開

〈主な展示資料〉

富岡日記、続富岡日記（個人蔵・長野市立博物館寄託）、横田家写真、セントルイス万国博覧会大褒賞（長野市立博物館蔵）、和田英書状、横田家伝来陣羽織、（真田宝物館蔵）、春日蝶書簡、上州富岡製糸場の図（群馬県立歴史博物館蔵）、上州富岡天朝御普請御製糸場、上州富岡製糸場図（富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館蔵）、富岡製糸所記、製糸場取扱方法伺（片倉工業株式会社蔵・富岡市寄託）、煉瓦、瓦、土瓶、明治13年の献立（富岡市教育委員会蔵）、韭塚直次郎肖像（富岡市蔵）、上州富岡御製糸場御役人附（群馬県立日本絹の里蔵）、松代縮図、管内贖悪二分処置一件、生糸繭共進会一件（当館蔵）

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

1/12（金）展示室前

出席者：岡田 憲輔長野県教育委員会文化財・生涯学習課長、片野 雄介富岡市富岡製糸場総合研究センター所長、中野 真一長野市立博物館長、新井武志長野県議会議員、竹内正美長野県議会議員

(2) 講演会

1/27（土）13：30～15：00 講堂

演題：近代日本の蚕糸技術 —「富岡製糸場と絹産業遺産群」と長野—

講師：佐藤有氏

（群馬県立歴史博物館）

参加者数：123名（申込制）

(3) 体験イベント

まゆクラフトを作ってみよう！

2/10（土）①11：00～12：00 ②13：00～14：00 遺物整理室

講師：伴野豊氏、羽柴小百合氏（駒ヶ根シルクミュージアム）

参加者数：32名（申込制）

(4) 特別講座

和田英が伝える明治の工女の姿

同時上映「シルク時空をこえて」

参加者数：154名

(5) 関連展示（小展示室）

館蔵シルクラベル大公開

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー 2,000部

チラシ A4判 両面カラー 18,000部

招待券 カラー 3,000部

図録 A4判カラー96頁 1,100部

〈担当〉

主管課長 小野和英

総合情報課 内城正登 林誠 町田勝則

● 2024 年所蔵品展 「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

令和6年(2024年)3月23日(土)～6月16日(日)（開催日数86日間）

観覧者数565人（3月23日～3月31日）

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新

聞社・長野市民新聞社・市民タイム
ス・市民新聞グループ（7 紙）・長
野日報社・南信州新聞社・NHK 長野
放送局・SBC 信越放送・NBS 長野放
送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放
送・（一社）長野県ケーブルテレビ
協議会・FM 長野・FM ぜんこうじ・屋
代有線放送電話農業協同組合・（公
財）八十二文化財団

〈展示趣旨〉

幕末以降の近現代史料に焦点をあて、
「近現代史料の多様性を示すもの」、「近
現代における時代・社会を象徴するもの」
に基づいて展示した。

急激な時代や社会の変化を伴った近現
代という時代に、長野県民がどのように
向き合ってきたのかを展示を通して考え
ていきたい。

〈主な展示資料〉 全て当館蔵

岩波其残（農耕図）、清水家文書（黒船
来航図関係資料）、行政文書（明治 11
年明治天皇巡幸関係資料）、満洲移民関
係資料（丸田恒雄満洲更級郡絵画資料、
終戦の記、出陣日記）、企業疎開と地域
（日本測定器株式会社疎開資料）、遺跡
の調査記録（平出遺跡、郷土遺跡、篠ノ
井遺跡群）、雑誌創刊号コレクション（週
刊新潮、anan、月刊フランチाइジ
ング）（小展示室）

〈印刷物〉

ポスター B2 判 片面カラー 2,000 部
チラシ A4 判 両面カラー 18,000 部
招待券 カラー 3,000 部

〈担当〉

主管課長 小野和英
総合情報課 小林寿英 飯島公子
河野智枝
考古資料課 白沢勝彦

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	学級数	グループ数
4	11	火	10:40-12:10	屋代高等学校附属中学校1年	79	2	6	2
4	21	金	10:40-12:10	中野市立中野小学校6年	67	4	4	2
			13:00-14:30	中野市立中野小学校6年	63	3	3	2
4	25	火	9:10-10:40	長野市立古里小学校6年	82	4	4	3
4	27	木	9:10-10:40	千曲市立五加小学校6年	52	4	4	2
4	28	金	9:10-10:40	長野市立昭和小学校6年	122	6	6	4
			10:40-12:10	東御市立滋野小学校6年	48	3	3	2
			13:00-14:30	須坂市立森上小学校6年	54	2	3	2
5	2	火	9:10-10:40	松本市立清水小学校6年	95	3	5	3
			10:40-12:10	佐久市立中佐都小学校6年	48	2	4	2
5	9	火	9:10-10:40	長野市立塩崎小学校6年	32	1	3	1
			9:10-10:40	飯山市立秋津小学校6年	22	1	2	1
5	10	水	9:10-10:40	東御市立祿津小学校6年	45	2	4	2
			10:40-12:10	松本市立開明小学校6年	116	4	8	4
5	11	木	9:10-10:35	大町市立美麻小中学校6年	13	1	2	1
			10:40-12:10	安曇野市立豊科北小学校6年	88	3	6	3
			10:40-12:10	南牧村立南牧北小学校6年	13	1	2	1
			13:00-14:30	長野市立吉田小学校6年	122	4	6	4
5	12	金	9:10-10:40	上田市立東小学校6年	104	3	4	3
			9:10-10:40	須坂市立井上小学校6年	30	1	2	1
			10:40-12:10	長野市立城山小学校6年	51	2	4	2
			10:40-12:10	青木村立青木小学校6年	31	1	3	1
			13:00-14:30	上田市立塩川小学校6年	26	1	2	1
			13:00-14:30	中野市立平野小学校6年	95	3	7	3
5	16	火	9:10-10:40	佐久市立野沢小学校6年	85	3	4	3
			13:00-14:30	飯綱町立牟礼小学校6年	48	2	5	2
5	17	水	9:10-10:40	長野市立朝陽小学校6年	113	4	7	4
			10:40-12:10	七二会・信州新町・中条・小川小合同6年	37	2	7	2
5	18	木	9:10-10:40	長野市立共和小学校6年	52	2	3	2
			9:10-10:40	長野市立寺尾小学校6年	18	1	2	1
5	19	金	9:10-10:40	上田市立北小学校6年	57	2	5	2
			10:40-12:10	長野市立信里小学校6年	6	1	2	1
			10:40-12:10	長野市立三輪小学校6年	63	2	3	2
			13:00-14:30	長野市立松代小学校6年	46	2	3	2
			14:30-16:00	長野市立若槻小学校6年	75	3	5	3
5	23	火	9:00-10:40	安曇野市立穂高北小学校6年	59	2	4	2
			10:40-12:10	安曇野市立穂高北小学校6年	58	2	2	2
			10:40-12:10	大町市立大町東小学校6年	25	1	2	1
			13:00-14:30	上田市立浦里小学校6年	9	1	2	1
			9:10-10:40	須坂市立仁礼小学校6年	29	1	3	1
5	25	木	9:00-10:15(75)	安曇野市立穂高東中学校2年	69	2	6	2
			10:50-12:10(80)	安曇野市立穂高東中学校2年	60	2	6	2
5	26	金	9:10-10:40	池田町立会染小学校6年	32	1	3	1
			10:40-12:10	松川村立松川小学校6年	79	3	5	3
5	30	火	9:10-10:40	安曇野市立豊科東小学校6年	27	1	4	1
			10:40-12:10	長野市立信更小学校6年	3	1	1	1
5	31	水	9:10-10:10	須坂市立豊丘小学校6年	9	1	2	1
			10:40-12:10	大田区立入新井第二小学校6年	100	3	8	3
6	6	火	9:10-10:40	白馬村立白馬南小学校6年	16	1	2	1
			10:40-12:10	小布施町立栗力丘小学校6年	96	3	6	3
6	7	水	9:10-10:40	飯綱町立三水小学校6年	33	3	2	2
			11:30-12:10	東京都練馬区立南が丘小学校6年	62	2	11	2
			9:10-10:40	長野市立篠ノ井東小学校6年	90	3	4	3
			9:10-10:40	栄村立栄小学校6年	6	1	1	1
			10:40-12:10	上田市立城下小学校6年	80	3	5	3
			13:00-14:20	長野市立城東小学校6年・長野ろう学校6年	50	2	5	2
6	9	金	9:10-10:40	長野市立松ヶ丘小学校6年/長野市立安茂里小学校6年	63	2	4	2
			9:10-10:40	長野市立豊野東小学校6年	28	1	2	1
			10:40-12:10	上田市立神川小学校6年	85	3	4	3
			13:00-14:30	池田町立池田小学校6年	31	1	2	1
			13:00-14:30	長野市立加茂小学校6年・芋井小6年	39	2	4	2
			14:30-16:00	草津町立草津小学校6年	33	1	6	1
6	13	火	9:10-10:40	松本市立鎌田小学校6年	67	2	4	2
			10:40-12:10	松本市立鎌田小学校6年	65	3	4	3
			13:00-14:30	小海町立小海小学校6年	31	1	2	1
6	14	水	9:10-10:40	千曲市立治田小学校6年	51	2	6	2

			10:40-12:10	松本市立奈川中学校1・2年	5	1	4	1
6	15	木	9:10-10:40	佐久市立中込小学校6年	52	2	4	2
			10:40-12:10	上田市立神科小学校6年	116	4	4	4
			13:00-14:30	長野市立篠ノ井西小学校6年	120	4	6	4
6	16	金	9:00-10:40	千曲市立墨代小学校6年	67	2	3	2
			10:40-12:10	長野市立浅川小学校6年	56	2	3	2
			10:40-12:10	千曲市立更級小学校6年	27	1	3	1
			13:00-14:30	上田市立長小学校6年	25	1	2	1
			13:00-14:30	坂城町立村上小学校6年	25	1	2	1
6	20	火	9:10-10:40	佐久市立東小学校6年	48	2	5	2
			10:40-12:10	須坂市立豊洲小学校6年	25	1	2	1
			10:40-12:10	上田市立清明小学校6年	43	2	4	2
			13:00-14:30	長野市立豊野西小学校6年	51	2	3	2
6	21	水	9:10-10:40	須坂市立旭ヶ丘小学校6年	33	1	3	1
			9:10-10:40	長野市立芹田小学校6年	98	3	3	3
			10:40-12:10	長野市立通明小学校6年	136	4	5	4
6	22	木	9:10-10:40	長野市立下氷鉋小学校6年	112	4	7	4
			10:40-12:10	中野市立高社小学校6年	79	3	4	3
			13:00-14:30	大町市立大町北小学校6年	44	2	5	2
6	23	金	9:10-10:40	松本市立本郷小学校6年	53	2	4	2
			10:40-12:10	安曇野市立明南小学校6年	33	1	2	1
			10:40-12:10	北相木・南相木小学校6年	17	2	4	2
			13:00-14:30	長野市立鍋屋田小学校6年	39	2	3	2
			13:00-14:00	長野市立保科小学校6年	22	1	2	1
6	27	火	9:20-10:20	信濃町立信濃小中学校6年	55	2	5	2
			10:40-12:10	安曇野市立明北小学校6年	19	1	3	1
			10:40-12:10	上田市立傍陽小学校6年	13	1	2	1
			13:00-14:30	軽井沢町立軽井沢東部小学校6年	20	1	3	1
			13:00-14:30	中野市立高丘小学校6年	24	1	2	1
			14:30-15:20	須坂市立日野小学校6年	53	2	3	2
6	28	水	9:10-10:40	長野市立川中島小学校6年	96	3	4	3
6	29	木	9:10-10:40	長野市立柳原小学校6年	62	2	3	2
			10:40-12:10	坂城町立南条小学校6年	44	2	5	2
			13:00-14:25	長野市立徳間小学校6年	85	3	5	3
6	30	金	9:10-10:40	佐久市立佐久平浅間小学校6年	122	4	6	4
			10:40-12:10	長野市立大岡小学校6年	3	1	1	1
			10:40-12:10	小諸市立東小学校6年	62	2	4	2
7	4	火	9:10-10:40	佐久市立岩村田小学校6年	79	3	8	3
			10:40-12:10	長野市立三本柳小学校6年	103	3	4	3
			13:00-14:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校	25	1	2	1
7	5	水	10:40-12:10	生坂村立生坂小学校6年	7	1	2	1
			10:40-12:10	佐久穂町立佐久穂小学校6年	64	2	6	2
7	6	木	9:10-10:40	佐久市立岸野小学校6年	36	1	2	1
			10:40-12:10	佐久市立浅科小学校6年	47	2	5	2
7	7	金	9:10-10:40	東御市立和小小学校6年	57	2	4	2
			10:40-12:10	松本市立田川小学校6年	49	2	4	2
			13:00-14:30	安曇野市立豊科南小学校6年	111	4	4	4
7	12	水	9:10-10:40	大町市立大町西小学校6年	44	2	2	2
			10:40-12:10	安曇野市立三郷小学校6年	144	4	7	4
7	13	木	10:40-12:10	長野盲学校6年	1	1	2	1
			13:00-14:30	御代田町立御代田南小学校6年	90	3	4	3
7	14	金	9:10-10:40	松本市立梓川小学校6年	141	4	7	4
			10:40-12:10	千曲市立戸倉小学校6年	47	2	5	2
			10:40-12:10	山ノ内町立南小学校6年	14	1	2	1
7	20	木	9:10-10:40	佐久市立望月小学校6年	54	2	4	2
7	20	木	10:40-12:10	長野市立湯谷小学校6年	64	2	4	2
7	21	金	9:10-10:40	松本市立島内小学校6年	50	2	4	3
			10:40-12:10	松本市立島内小学校6年	90	3	4	2
7	22	土	14:30-16:00	早稲田大学 移住論ゼミ	20	1	2	1
8	29	火	10:40-12:10	上田市立西小学校6年	75	3	4	3
8	30	水	10:40-12:10	松本市立旭町小学校6年	63	2	5	2
9	15	金	9:30-10:40	千曲市立戸倉上山田中学校1～3年	6	1	2	1
			10:40-12:10	高山村立高山小学校6年	54	2	4	2
9	22	金	9:10-10:40	伊那市立伊那小学校4年	94	3	7	3
			10:40-12:10	須坂市立須坂小学校6年	35	1	3	1
			10:40-12:10	須坂市立高甫小学校6年	25	1	2	1
9	26	火	14:30-16:00	長野市立南部小学校6年	92	3	4	3
9	27	水	10:40-12:10	上田市立丸子中央小学校6年+西内小学校6年	82	3	5	3
			10:40-12:10	上田市立丸子中央小学校6年+西内小学校6年	3	1	1	0
9	28	木	9:10-10:40	東御市立田中小学校6年	71	3	5	3
			14:30-16:00	上越市立牧小学校5・6年	15	1	4	1
9	29	金	10:40-11:40	南長野幼稚園年長	65	3	9	3
10	3	火	9:10-10:40	上田市立川辺小学校6年	81	3	6	3

			13:00-14:30	長野市立青木島小学校6年	92	3	3	3
10	5	木	10:40-12:10	山ノ内町立東小学校6年	25	1	2	1
10	6	金	9:10-10:40	上田市立南小学校6年	113	4	5	4
			10:40-12:10	千曲市立上山田小学校6年	22	1	3	1
10	11	水	9:45-10:30	塩崎保育園	20	1	4	1
10	12	木	9:10-10:40	松本市立安曇小5・6年	6	1	2	1
			9:10-10:40	大田区立千鳥小学校6年	51	2	6	2
			10:30-11:30	渋谷教育学園渋谷中学2年生徒のみ	6	1	0	
10	13	金	9:10-10:40	長野市立緑ヶ丘小学校5年	88	3	6	3
			10:40-12:10	長野市立大豆島小学校6年	112	4	7	4
			13:00-14:30	山ノ内町立西小学校6年	18	1	2	1
10	17	火	9:10-10:40	駒ヶ根市立赤穂南小学校4年	60	2	5	2
			9:10-10:40	中野市立豊田小学校6年	21	1	2	1
			9:10-10:40	長野市立篠ノ井西中学校2年	6	2	2	2
10	19	木	9:10-10:40	白馬村立白馬北小学校6年	47	2	4	2
10	24	火	10:40-12:10	大田区立羽田小学校6年	36	1	5	1
10	26	木	9:30-10:40	東御市立東部中学校	12	1	3	1
10	27	金	15:00-16:00	飯田市立座光寺小学校4年	32	1	3	1
10	31	火	9:10-10:40	坂城町立坂城小学校6年	36	2	2	2
			10:30-12:00	飯山市立常盤小学校6年	10	1	2	1
11	1	水	9:30-10:30	松本市立岡田小学校あさひ分校	1	4	2	1
11	2	木	9:10-10:40	上田市立塩尻小学校6年	30	1	2	1
			10:40-12:10	上田市立塩田西小学校6年	38	2	3	2
11	7	火	9:10-10:40	中野市立日野小学校6年	8	1	2	1
11	9	木	10:40-12:10	長野市立山王小学校	38	2	3	2
11	10	金	9:10-10:40	飯山市立飯山小学校6年	46	2	4	2
			10:40-12:10	上田市立本原小学校6年	22	1	3	1
			10:40-12:10	南牧村南牧南小学校6年	12	1	2	1
			14:30-15:30	飯田市立千栄・千代・上久堅小4年	17	1	5	1
11	14	火	9:10-10:40	千曲市立東小学校6年	50	2	2	2
			13:00-14:30	千曲市立増生小学校6年	111	4	5	4
11	16	木	9:10-10:40	須坂市立日滝小学校6年	60	2	3	2
11	17	金	9:10-10:40	長野市立東条小学校6年	40	2	2	2
			10:40-12:10	松本市立芳川小学校6年	118	4	6	4
			13:00-14:30	小諸市立美南ガ丘小学校6年	91	3	5	3
11	21	火	10:30-12:00	飯山市立東小学校6年	14	1	2	1
11	22	水	9:10-10:40	佐久市立佐久城山小学校6年	60	2	4	2
			14:30-16:00	辰野町立辰野西小学校4年	70	2	6	2
11	28	火	14:30-16:00	大町市立大町南小学校6年	40	2	3	2
12	5	火	13:00-14:30	千曲市立八幡小学校6年	31	1	2	1
12	8	金	9:10-10:40	佐久市立泉小学校6年	45	2	3	2
12	21	木	9:10-10:40	須坂市立小山小学校6年	55	2	3	2
			10:40-12:10	上田市立武石小学校6年	24	1	2	1
1	20	土	9:00-12:10	清泉女学院	20	1	1	1
			9:45-10:45	長野工業高等専門学校	19	1	1	1
合計					9538	377	691	362

(2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	団体数	引率数	グループ数
7	28	金	10:00-11:00	東京都大田区教育委員会	76		2
8	2	水	13:30-15:00	長野上水内学校事務研究会	8	1	1
8	18	金	10:00-11:30	千曲市学校職員会6学年会	13		1
9	1	金	15:00-16:20	更埴教育会増生支部	18	1	1
合計					115	2	5

(3) 一般団体見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	団体数	引率数	グループ数
4	25	火	10:40-12:10	松本市 白板地区公民館	17	1	1
5	6	土	13:00-14:00	障害者福祉施設 森と木	11	1	1
5	24	水	9:10-10:10	南箕輪 久保 ゆいの会	18	1	1
6	2	金	14:00-15:00	NTT長野県支部	13	1	1
6	25	日	11:30-12:30	南陸郷地区社会福祉協議会	23	1	1
			11:45-13:00	あざみの会	12		1
6	30	金	12:30-13:30	戸隠公民館	20	1	1
7	4	火	14:30-16:00	上田市高齢者学園	24	1	1
7	5	水	9:10-10:40	いいづな大学いいづな教室	21	1	1
7	20	木	9:30-11:00	おとなりさんの考古学入門	24	1	1
7	23	日	9:30-11:00	高遠町公民館高遠地区分館	33	1	1
7	30	日	9:30-11:00	千曲市スポーツ少年団	50		1

8	8	火	10:00-11:30	ロータリー旅行	12		1
8	9	水	10:00-11:30	松本市 中央公民館・安曇公民館	13	1	1
8	10	木	10:30-11:30	さんきっずやしま	6	1	1
8	31	木	13:10-14:30	星降る中部高地の縄文世界	19	1	1
9	28	木	10:30-11:30	大鹿村老人クラブ	25	1	1
10	3	火	13:50-15:00	安中文化会	19	1	1
10	5	木	9:10-10:40	須坂市民学園1年生	14	1	1
10	5	木	14:00-14:50	北信越市長会総会（運転手①）	109		1
			14:40-15:30	北信越市長会総会（運転手②）			1
			15:30-16:20	北信越市長会総会（市長①）			1
			16:10-17:00	北信越市長会総会（市長②）			1
10	19	木	10:40-11:40	下高井退職教職員の会	9		1
11	1	水	10:40-11:40	松本市神林公民館	26	1	1
11	22	水	13:00-14:30	長野市立芋井公民館	21	1	1
11	26	日	10:10-11:40	須坂市穀町公民分館	8		1
			13:00-14:30	はびねす安茂里（放課後デイサービス）	4		1
12	13	水	9:30-10:30	笹賀公民館	18		1
12	16	土	10:40-11:40	しののい福祉会	7		1
12	27	水	14:30-15:30	株式会社サンプロ	13		1
1	20	土	10:40-12:10	KOAの日展示解説	40		2
1	24	水	10:30-12:00	佐久穂町ふるさと遺産収蔵館友の会	20		1
1	26	金	9:25-10:25	長野県市議会議長会1班	30	1	1
			10:55-11:55	長野県市議会議長会2班	30	1	1
3	14	木	10:00-11:30	縄文旅信州ながの編	19	1	1
合計					728	21	37

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加 人数
6月17日 (土)	【夏季企画展関連】 考古学講座① 「主張する古墳 ～新たなシナノの古墳時代像～」	石丸敦史 (考古資料課文化財専門員)	68
7月1日 (土)	考古学講座② 「中野の古墳に行ってみよう! ～高遠山古墳と七瀬双子塚古墳～」	柳生俊樹氏 (中野市教育委員会学芸員)	77
7月15日 (土)	考古学講座③ 「松本の古墳に行ってみよう! ～市民に愛される弘法山古墳と針塚古墳～」	小山奈津実氏 (松本市教育委员会主任)	79
7月22日 (土)	ワークショップ		15
7月29日 (土)	夏季企画展講演会① 「シナノの騎馬文化と古代東アジア」	諫早直人氏 (京都府立大学准教授)	118
8月5日 (土)	考古学講座④ 「諏訪の古墳に行ってみよう! ～道の交わりと人・モノの交流～」	児玉利一氏 (諏訪市博物館主査学芸員)	89
8月5日 (土)	企画展関連講座② 「上野三碑にみる多文化共生と古墳時代社会」	須永 忍氏 (高崎市教育委員会)	35
8月19日 (土)	考古学講座⑤ 「飯田の古墳に行ってみよう! ～馬がもたらした富と権力～」	春日宇光氏 (飯田市教育委員会主事)	90
10月21日 (土)	【秋季企画展関連】 企画展講演会① 「やきものって何!?縄文のビーナスから善光寺寄進染付燈籠・・・まで」	仲野泰裕氏 (元愛知県陶磁美術館副館長)	50
10月28日 (土)	体験講座	松代陶苑	26
11月11日 (土)	企画展講演会② トークセッション 「松代焼の復興について ～唐木田又三の足跡～」	唐木田伊三男氏 (唐木田陶園 企画展担当) 柴田洋孝 (総合情報課文化財専門員)	35
1月27日 (土)	【冬季企画展関連】 企画展講演会① 「近代日本の蚕糸技術 ～富岡製糸場と絹産業遺跡群と長野～」	佐藤有氏 (群馬県立歴史館博物館学芸員)	123
2月10日 (土)	体験講座	駒ヶ根シルクミュージアム	32
2月23日 (金)	特別講座	内城正登 (総合情報課専門主事)	154

計 991

3 講座

(1) 県立歴史館講座

①館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月6日(土)	所蔵史料に見る戦国時代の信濃 ～川中島合戦を中心にして～	笹本 正治 (当館特別館長)	78
6月10日(土)	シナノから科野、そして信濃へ	西山 克己 氏 (長野県教育委員会文化財・生涯学習課)	104
12月9日(土)	赤い土器のクニ ～邪馬台国時代へのあゆみ～	町田 勝則 (当館学芸部総合情報課)	47
3月2日(土)	古代刀剣の保存処理・修復	白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課)	53

(4回分) 計 282

②県立歴史館出前講座 in 大桑

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
9月16日(土)	大桑村役場新庁舎	縄文時代における土器の移動 と交流 ―土器文様と胎土から―	水澤 教子 (当館学芸部考古資料課)	9

③県立歴史館出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
10月14日(土)	箕輪町地域交流センター	伊能忠敬と信州 古墳時代の祭祀と信仰	小野 和英 (当館学芸部総合情報課) 櫻井 秀雄 (当館学芸部考古資料課)	34

(②③) 計 43人

(2) 考古学講座

①考古学講座「わが町自慢の古墳～実はスゴい！長野県の古墳～」

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月17日(土)	主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～ ※夏季企画展関連講座と兼ねる	石丸 敦史 (当館学芸部考古資料課)	68
7月1日(土)	中野の古墳に行ってみよう！ ～高遠山古墳と七瀬双子塚古墳～ ※夏季企画展関連講座と兼ねる	柳生 俊樹 氏 (中野市教育委員会 学芸員)	77
7月15日(土)	松本の古墳に行ってみよう！ ～市民に愛される弘法山古墳と針塚古墳～ ※夏季企画展関連講座と兼ねる	小山 奈津実 氏 (松本市教育委員会 主担)	79

8月5日(土)	諏訪の古墳に行ってみよう！ ～道の交わりと人・モノの交流～ ※夏季企画展関連講座と兼ねる	児玉 利一 氏 (諏訪市博物館 主査・学芸員)	89
8月19日(土)	飯田の古墳に行ってみよう！ ～馬がもたらした富と権力～ ※夏季企画展関連講座と兼ねる	春日 宇光 氏 (飯田市教育委員会 主事)	90

(計 403人)

②特設考古学講座 「文化財を未来へ伝える～木製品の保存科学～」

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
10月22日(日)	長野盆地から出土した木製品 ～木製品の観察～	水澤 教子 (当館学芸部考古資料課) 白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課)	8
11月18日(土)	木製品の保存処理と修理① ～木製品の保存処理実習～		10
12月16日(土)	木製品の保存処理と修理② ～木製品の保存処理実習～		8

計 26人

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 6月4日(日)	楽しい古文書の学習をスタートしよう ～中馬荷物并口銭中馬稼之村名馬数等申渡書～	新井 寛子 (当館学芸部文獻史料課)	36
B: 6月8日(木)			38
A: 7月2日(日)	歴史的仮名遣いを学ぼう ～「牛にひかれて善光寺まゐり」から～	鈴木 実 (当館学芸部文獻史料課)	38
B: 7月6日(木)			36
A: 8月20日(日)	江戸時代の地方文書を読もう ～人別送状～	花岡 康隆 (当館学芸部文獻史料課)	37
B: 8月24日(木)			37
A: 9月17日(日)	明治時代の公文書を読む ～ドキュメント・西南戦争～	花岡 康隆 (当館学芸部文獻史料課)	34
B: 9月21日(木)			34
A: 10月8日(日)	江戸時代の文書を読もう ～書状(溶姫其宿御泊旅籠代)～	新井 寛子 (当館学芸部文獻史料課)	35
B: 10月5日(木)			32

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 6月3日(土)	近世地方文書を読む1 ～松本藩松川組 清水家文書を読む～	小野 和英 (当館学芸部総合情報課)	35
B: 6月8日(木)			37
A: 7月1日(土)	近世地方文書を読む2 ～松本藩松川組 清水家文書を読む～		32
B: 7月6日(木)			37

A: 8月19日(土)	近世地方文書を読む3	小野 和英 (当館学芸部総合情報課長)	31
B: 8月24日(木)	～松本藩松川組 清水家文書を読む～		34
A: 9月16日(土)	近世の軍記物語を読もう1	村石 正行 (当館学芸部文献史料課長)	34
B: 9月21日(木)	～古老夜話集～		31
A: 10月7日(土)	近世の軍記物語を読もう2		28
B: 10月5日(木)	～古老夜話集～		33

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月27日(土)	正徳四年 上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参事)	15
6月24日(土)	正徳四年 上田城下町問屋日記(抄)		17
7月22日(土)	正徳四年 上田城下町問屋日記(抄)		16
8月26日(土)	正徳四年 上田城下町問屋日記(抄)		14
9月30日(土)	正徳四年 上田城下町問屋日記(抄)		14

④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
8月3日(木)	ヘンタイ仮名の世界へようこそ	村石 正行 (当館学芸部文献史料課長)	5
4日(金)	辞書のはなし		4

⑤古文書フォローアップ講座

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
10月28日(土)	武田信玄と温泉	笹本 正治 (当館特別館長)	38
10月29日(日)	人生の一コマに文書を読む楽しみを!	村石 正行 (当館学芸部文献史料課長)	56

古文書講座 計 868

(4) その他

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
8月11日(金)	クラウドファンディング講座	笹本 正治 (当館特別館長)	44

計 44

4 考古学セミナー

考古学セミナーは、長野県考古学会との共催事業と位置付けられている。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
5月21日(土)	遺跡報告会 長野市 清水原古墳群 上田市 上田城跡 石切丁場 飯田市 西浦遺跡 大型建物	風間 栄一 氏 (長野市教育委員会) 和根崎 剛 氏 (上田市教育委員会) 上田 典男 氏 (長野県埋蔵文化財センター)	50

計 50人

5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの主催として実施。「近世の林業」をテーマにして、2名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月2日(土) 13:00～15:25	研究発表 1 「樽木の渡入の実現過程 ー享保六年を中心にー」 研究発表 2 「松本藩戸田家の時代の林業 ー表勘定所役人の仕事をを中心にー」	前澤 健氏 (飯田市歴史研究所) 菊入 三樹夫氏	40

計 40人

6 講習会

(1) 考古資料保存技術講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
第1回 2月20日(火)	『 赤外線反射・X線透過観察で得られる 画像の読影方法 』	白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課)	第1回 14名
第2回 3月15日(金) 10:00～15:00			第2回 10名

計 24人

(2) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月22日(木) 13:25～15:30	第1回講習会:南木曾町博物館 妻籠町並み交流センター テーマ「南木曾町博物館の史料保存」 講演会「南木曾町の史料保存の歩みについて」 巡見 南木曾町博物館	遠山 高志氏 (南木曾町博物館名誉館長)	30
11月10日(金) 13:00～16:00	第2回講習会:長野県立歴史館講堂 テーマ「シンポジウム 史資料の収集・保存・散逸 防止と史誌編さん」 報告 「長野県の史誌編纂の歩みと課題—長野県史編 纂から30年—」 問題提起 「近現代史資料の保存と活用について—主として民 間の史資料に関わって—」 「小冊子の発行を通して思うこと」 「史資料の収集保存から、新しい史誌編さ んへ—大昔調査会の活動を通じて—」 「アーカイブズにおける資料(歴史公文書等)の 保存と整理—〇〇のために、歴史資料は半永 久的に保存される—」	村石 正行 (当会事務局・理事) 桂木 恵氏 (上田小県近現代史研究会事務局長) 小林 一郎氏 (長野郷土史研究会会長) 高見 俊樹氏 (一般社団法人大昔調査会代表理事) 松島 耕二氏 (須坂市文書館学芸員、 認証アーキビスト)	55
1月25日(木)・ 26日(金) 各10:00～15:00	第3回講習会:長野県立歴史館遺物整理室 テーマ「史資料整理の基本と実技—保存箱づく りと整理表入力—」 実技講習 「保存箱づくり・整理表入力」	村石 正行 (当会事務局・理事) 演習 当館文献史料課職員	32

計 117人

7 イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	歴史館ワードパズル	207
		プラ板マスコットづくり	144
8月6日	歴史館で夏休み	①どきmoドキ②歴史館でワードパズル	①93 ②118
11月19日	須坂市民の日関連	須坂市関係史資料の特別公開・武田晴信感状（天文24年）、上杉景勝書状など	103
		宮坂武男城郭研究資料・井上城、八町竹の城、須田城など	
		解説ボランティアによる展示解説	
11月25日	縄文風クリスマスリースを作ろう	クリスマスリースづくり	29
1月20日	KOAの日関連	プラ板マスコットづくり	28
		資料特別公開	195
		ドキュメンタリー映画「シルク時空（とき）をこえて」	117
3月16日	親子映画会	イソップ物語「けんかした牛」ほか	152
3月17日		まんが日本昔ばなし「旅人馬」ほか	89
3月19日		まんが日本昔ばなし「念仏天狗」ほか	139
3月20日		イソップ物語「ライオンとネズミ」ほか	297
合計			1,735

8 展示解説

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
学校数	8	37	55	22	2	10	21	19	4	2	0	0	180
一般団体数	1	2	4	5	4	1	7	4	3	4	0	1	36
計	9	39	59	27	6	11	28	23	7	6	0	1	216

9 学校との連携

(1) 千曲市立東小学校との連携

→今年度、学校からの希望はなし。

(2) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月11日）

- ・研修講座〔社会科の基本Ⅱ ～県立歴史館の資料を活用した教材研究～〕
- ・演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。
- ・受講者 14 名。

(3) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（9月22日、2月6日、2月15日）

- ・9月22日 16 名、2月6日 46 名、2月15日 24 名。

※ただし2月15日 24 名は、博物館関係職員等研修会 1 日目参加者 71 名に含むため、合計 62 名。

(4) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曽・諏訪地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
- ・実施した学校数：1 校 2 講座、公民館数 3 館 3 講座、実施人数 106 名。詳細は以下の通り。

① 8月8日 下諏訪総合文化センター

対象：小学校 4～5 年生 37 名

内容：縄文人になろう

担当：黒川、飯島

② 8月17日 中川村公民館

対象：小学校 1 年生～6 年生と保護者 8 名

内容：縄文人になろう

担当：内城、小林

③ 11月30日 上松町立上松小学校

対象：小学生 3 年生、6 年生 38 名

内容：縄文人になろう

担当：小林、黒川

④令和6年3月19日 南木曾町放課後教室

対象：小中学校と保護者 23名

内容：縄文人になろう

担当：町田、柴田

10 博物館実習

- ・実習期間 8月18日（金）から8月29日（火）まで
※ 8月21日（月）・28日（月）を除く10日間
- ・実習生 10名
- ・内 容 考古資料の収集・整理・保存、文献史料の収集・整理・保存、展示の実務、文化財の取り扱い、展示の設計、展示解説、広報、資料閲覧・図書の実務、特別館長講話、課題討論「期待する長野県立歴史館像」

11 インターンシップ

本年度は申し込み無し。

12 職場体験学習

- (1) 中学生による職場体験学習（3校、10名）
 - 7月6日、7日（2日間） 千曲市立更埴西中学校2年生（5名）
 - 7月20日、21日（2日間） 長野市立篠ノ井西中学校2年生（3名）
 - 8月31日（1日間） 千曲市立戸倉上山田中学校2年生（2名）
- (2) 高校生による就業体験学習（1校、7名）
 - 8月1日（1日間） 長野県屋代高等学校1年生（7名）
- (3) 社会人研修（2校、2名）
 - 8月1日、2日（2日間） 長野市立三本柳小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ（1名）
 - 8月1日、2日（2日間） 上田市立塩川小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ（1名）

13 サークル育成活動

- 古文書愛好会 (1)～(4)参加合計 706名

(1) 館蔵文書を読む会

- ①日時 6月1日(木) 34名 6月29日(木) 34名 7月27日(木) 34名
8月31日(木) 35名 9月28日(木) 32名 10月26日(木) 34名
11月16日(木) 31名 12月7日(木) 33名
9:30~16:00

②内容 田中熙収集文

「天明二寅十二月ヨリ同三癸卯年極月迄 同四辰壬正月迄 日記」

「天明四年申辰年四月御内勤日記扣」

③参加者数(延べ人数) 267名

(2) 古文書探訪会

①日時 令和5年(2023年)10月13日(金)

②テーマ 「安曇野を巡る旅」

③目的地 安曇野市(拾ヶ堰、穂高神社、大王わさび農場、安曇野市文書館、安曇野市豊科郷土博物館)

④参加者数 23名

(3) 古文書演習

①演習史料 伊那郡大草村横前家文書

②演習Ⅰ 夏季(13:00~16:00)

5月27日(土) 19名・6月24日(土) 20名・7月22日(土) 20名・8月26日(土) 15名
・9月30日(土) 14名

③演習Ⅱ 冬季(9:30~15:30)

令和6年(2024年)1月19日(金) 23名・20日(土) 13名・21日(日) 13名・26日(金) 13名・27日(土) 23名・28日(日) 13名・2月2日(金) 20名・3日(土) 18名・4日(日) 16名・9日(金) 16名・10日(土) 22名・11日(日・祝) 13名・16日(金) 17名・17日(土) 21名・18日(日) 7名・23日(金・祝) 16名・24日(土) 15名・25日(日) 12名

④参加者数(延べ人数) 演習Ⅰ 88名 演習Ⅱ 291名

(4) 総会・研修講演会

①日時 2月25日(日)

②総会議題

・令和5年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告

・令和6年度古文書愛好会役員案・同古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案

③研修講演会 「松代藩日記類の諸相」

講師 松代文化施設等管理事務所・学芸員 降旗 浩樹 氏

④参加者数 37名

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

① 総会の開催 開催。

② 保険の加入 5回にわたり手続きした。保険適用は無かった。

③ 募集 ホームページ、エントランスにちらし設置等

④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計（延数）	実数
年度当初数（人）	4/1	33	15	53	101	66
年度末数（人）	3/31	36	18	63	117	76

⑤ 招待券等の送付

例年、会員を内覧会へ招待していたが、コロナウイルス感染症拡大防止のために今年度も招待しなかった。

⑥ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

① 一般客への展示解説 「日曜解説」

- ・実施日 毎週日曜日と祝日（通年）67日
- ・実施時間 午前 10:30～12:30 午後 1:30～3:30（1～2 月は 1:00～3:00）
- ・解説人数 午前・午後ともに 1～2 名
- ・解説方法 マスク、ソーシャルディスタンス等の感染防止対策を行い、展示室で声がけをしながら適宜行った。

② イベント時における展示解説と監視

- ・企業協賛の日（KOA の日）には、監視も兼ねて解説をしていただいた。

③ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、自主研修ほか

(3) 体験ボランティア活動

- ・こどもの日のプラ板づくり、歴史館で夏休みの日の土器のレプリカづくり、クリスマスリースづくり、KOAの日のプラ板づくりで活動を行った。
- ・コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も参加者が密になる勾玉づくりは行わなかった。
- ・「歴史館で夏休み」のイベントもコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) 作業ボランティア活動

①活動内容 ※平日と土日に活動

- ・木製品処理 ※実施日：107日（4月～3月） 実会員：11名
- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）
※実施日：243日（4月～3月） 実会員：15名
- ・図書整理 ※実施日：51日（4月～3月） 実会員：7名

② 運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課、総合情報課で連携し、運営した。

15 博物館関係職員等研修会

1 趣 旨

博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。

2 主 催

長野県教育委員会、長野県博物館協議会

3 期 日

令和6年2月15日（木）・2月16日（金）

4 会 場

長野県立歴史館

5 参加対象者

博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員、
市町村教育委員会職員、
教育事務所等県職員、
県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

6 内容・日程

令和6年2月15日（木） 1日目

内容

講演会「博物館と防災」

講師：笹本 正治（当館特別館長）

事例報告「松田邸の再興の取り組み」

講師：中島 丈晴 氏

（千曲市武水別神社神官松田邸主査・学芸員）

令和6年2月16日（金） 2日目

内容 実務研修：

① 実務研修グループ

A グループ 考古品（鉄製品・木製品）の処理・保存の実務

場所：遺物整理室

講師 水澤 教子（当館 専門主事・学芸員）

白沢 勝彦 (当館 専門主事・学芸員)

B グループ 刀剣類の保存と手入れ

場所：第1研修室

講師 上沢 修 氏 (長野県立美術館 学芸課学芸第一係長)

講師 時信 武史 氏 (坂城町 鉄の展示館 学芸員)

講師 河内 一平 氏 (刀鍛冶師)

講師 林 誠 (当館 主任・学芸員)

7 参加者数

1日目 71名 (信州大学学芸員資格取得講座参加者 24名を含む)

2日目 51名

計 122名

16 出前講座

(1)県立歴史館出前講座 ※再掲 p43参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
9月16日	大桑村役場新庁舎		9	
10月14日	箕輪町地域交流センター		34	

43

(2)お出かけ歴史館事業 ※再掲 p49参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
8月8日	下諏訪町公民館	縄文人になろう	37	黒川・飯島
8月17日	中川村公民館	縄文人になろう	8	内城・小林
11月30日	上松町立上松小学校	縄文人になろう	38	小林・黒川
3月19日	南木曾町放課後教室	縄文人になろう	23	町田・柴田

106

(3)その他

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
4月22日	若穂郷土史研究会講演会	川中島の戦いと高井郡（河東）の武士団や農民の動きについて	55	村石 正行
5月11日	戸倉史談会総会講演会	中世の千曲市の歴史について	45	村石 正行
5月12日	松代公民館講座「海津大学園」	主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～	45	石丸 敦史
5月13日	千曲親友会（長野県職員退職者親睦団体）研修会	南北朝・室町時代の村上一族	21	花岡 康隆
5月25日	市立長野高校ながのろじー	縄文土器に焦点をあてて紐解く縄文時代	27	水澤 教子
6月4日	富山県置県140年記念パネルディスカッション	記録を守り、歴史を知り、未来へ繋ぐ	100	村石 正行
6月17日	長野県退職校長会更級埴科支会講演	南北朝の内乱と更埴	45	村石 正行
6月17日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	飯沼飛行士を知ろう	61	小林 寿英
6月23日	松代公民館講座「海津大学園」	古代シナノとその信仰～東北信を中心に～	38	鈴木 実
7月1日	平出博物館土曜サロン	遺跡からわかる古代道路の構造	64	白沢 勝彦
7月9日	浅間縄文ミュージアム博物館講座	動く!!縄文土器と縄文人	100	水澤 教子
7月15日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	安曇野のわさびについて	57	小林 寿英
7月19日	長野市立博物館友の会「やさしい考古学を勉強する会」	主張する古墳	8	石丸 敦史
8月5日	岡谷美術考古館移転開館10周年記念特別企画展関連講演	天王垣外遺跡出土の玉類が意味するもの	70	町田 勝則
8月8日	飯山市「ヤング古文書講座」	古文書を読んでみよう	11	村石 正行
8月12日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	穂高で古墳発掘しよう	62	小林 寿英
8月27日	森將軍塚古墳友の会学習会	古墳企画展をテーマとした座談会	24	石丸 敦史

8月31日	市立長野高校ながのろじー	川中島の戦いについて	32	村石 正行
9月16日	八ヶ岳美術館「縄文前期の巨大祭祀場阿久」展講演会	長野県における阿久遺跡について	50	町田 勝則
9月18日	長野市篠ノ井昭和区70周年記念事業歴史講演会	大塔合戦について	40	村石 正行
9月23日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	秋の安曇野交通安全、環状交差点“本村円”ってなあに？	51	小林 寿英
10月1日	南信州観光公社「南信州こだわりの旅」講演会	飯田城主坂西氏の謎に迫る～坂西氏一族の中世～	14	花岡 康隆
10月5日	市立長野高校ながのろじー	2枚の屏風絵	28	黒川 稔
10月6日	岡谷市湊公民館いちい学級講演会	諏訪信仰のひろがり～古文書に親しもう～	15	村石 正行
10月21日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	長峰山で化石発見、秋の長峰山から安曇野を覗よう	66	小林 寿英
10月21日	篠ノ井交流センター中央分館講演会	大塔合戦について	55	村石 正行
10月28日	中野市立図書館文化講演会	描かれた川中島合戦～屏風にみる戦の世界～	33	黒川 稔
11月3日	森將軍塚まつり青空教室	主張する古墳	30	石丸 敦史
11月4日	篠ノ井住民自治協議会塩崎地域委員会歴史講演会	四宮庄のはなし	50	村石 正行
11月16日	若穂公民館教養講座	中世の若穂地域と井上一族	37	花岡 康隆
11月17日	湯～ばれあ郷土史講座	主張する北信の古墳	15	石丸 敦史
11月18日	平出博物館土曜サロン	中山道と塩尻	65	小野 和英
11月18日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	穂高郷土資料館見学・新発見、松尾寺山城跡を探検しよう	54	小林 寿英
12月2日	伊那市立高遠町歴史博物館第28回歴史博講座	高遠町の遺産～最後の藩主が残したもの～	27	河野 智枝
12月16日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	三郷貞亨義民記念館見学と周辺探検、“二斗五升”ってなあに？	46	小林 寿英
12月21日	長野市立博物館友の会「やさしい考古学を勉強する会」	古墳時代のいのり	8	櫻井 秀雄
12月26日	湯～ばれあ郷土史講座	和田英を中心とした明治の工女の姿	13	内城 正登
1月11日	群馬県博木曜講座「上州の戦国人」	小笠原貞慶 天正18年の松井田攻城をめぐる	80	村石 正行
2月4日	更埴西図書館講演会	新説 川中島合戦～地元の佐野山城を手がかりに～	57	村石 正行
2月10日	千曲市歴史講座	縄文時代のサケ漁とその利用	29	水澤 教子
2月17日	豊科郷土博物館友の会タカラさがし部	文書館で自宅の周りの航空写真で見比べてみよう	59	小林 寿英
3月3日	高井地方史研究会講演	信濃国における戦国時代への移行と“国衆”高梨氏の成立	80	花岡 康隆
3月19日	南木曽町公民館講座	地域を知ろう！南木曽歴史博講座～南木曽町の原始について～	13	町田 勝則

1,880

IV 共催事業等

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
5月21日	考古学セミナー	長野県考古学会	50
12月3日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	40
6月22日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	30
11月10日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	55
1月25・26日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③	長野県史料保存活用連絡協議会	32
6月～12月	古文書愛好会 館蔵文書を読む会 (8回)	古文書愛好会	267
10月13日	古文書愛好会 古文書探訪会	古文書愛好会	23
5月～2月	古文書愛好会 古文書演習 (23回)	古文書愛好会	379
2月25日	古文書愛好会 総会講演会	古文書愛好会	37
7月11日	総合教育センター研修	長野県総合教育センター	14
9月22日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館展示論)	信州大学	16
2月6日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館資料・メディア論)	信州大学	46
2月15・16日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	122
4/1～6/12	「掘るしん2023」県埋文センター速報展	長野県埋蔵文化財センター	1,791
7/1～8/20	中央日本4県文化財交流展示 (長野県実施)	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	4,936
9/9～10/15	中央日本4県文化財交流展示 (新潟県実施)	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	4,672
12/9～1/21	中央日本4県文化財交流展示 (山梨県実施)	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	1,619
2/15～3/9	中央日本4県文化財交流展示 (静岡県実施)	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	1,136
R5/1/28～4/2	「2022年志賀高原ロマン美術館冬季企画展特別展示「山ノ内の縄文」	山ノ内町教育委員会	1,507

16,772

V 出版

1 長野県立歴史館たより

- (1) 夏号 vol. 115 表紙 史跡 森將軍塚古墳(千曲市) 松本市弘法山古墳の半三角縁四獣文鏡(松本市立考古博物館蔵) 飯田市畔地1号古墳の垂飾付耳飾(復元複製/当館蔵)

令和5年5月31日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示紹介」、「夏季企画展 主張する古墳—新たなシナノの古墳時代像—」、「研究の窓 『定住』のはじまりを考える」、「古文書の流出を防ぐために」、「インフォメーション 2023年6月～9月の行事予定」、「行事アルバム」

- (2) 秋号 vol. 116 表紙 信斎焼 鼎形風炉(東漸寺蔵)

令和5年9月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「秋季企画展 信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」、「文献史料をよむ 満州国協和会関係資料より訃報書簡(三石好夫父親宛て)」、「考古資料をよむ 火砕流に覆われた遺跡」、「夏季展 主張する古墳をふりかえって—新たなシナノの古墳時代像—」、「冬季企画展 和田 英～糸づくりに懸けた明治の女性～」、「インフォメーション 2023年9月～2024年1月の行事予定」、「行事アルバム」

- (3) 冬号 vol. 117 表紙 朝孝 富岡製糸場工女勉強之図(群馬県立歴史博物館蔵)
令和5年12月5日発行 A4判、4頁(オールカラー)

主な内容：「冬季企画展 和田 英～糸づくりに懸けた明治の女性～」、「文献資料をよむ 長野県行政文書にみる関東大震災」、「インフォメーション 2023年12～2024年3月の行事予定」、「行事アルバム」

- (4) 春号 vol. 118 表紙 農耕図 岩波其残(当館蔵)

令和6年2月15日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「令和6年度の歴史館」、一研究の窓—「江戸時代の役人と文書～『中馬荷物并口銭中馬稼之村名馬数等申渡書』～」、「2024年所蔵品展 至宝の名品—学芸員のイチオシ 長野県民がみた幕末から現代—」、「秋季企画展を振り返って」、「一考古資料を読む—デジタル化社会における資料の収集と保管」、「カレンダー、イベント、企画展」 「インフォメーション 2024年3月～6月の行事予定」、「行事アルバム」

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第30号 令和6年3月31日発行、A4判、118頁、PDF

<内容>

口絵／資料紹介

新収蔵資料 長谷川信秋筆

木曾義仲合戦図屏風

村石 正行

◇研究報告

女神としての薙鎌 ―新海三社神社の場合―

笹本 正治

近衛家の人々と連歌ネットワーク ―永禄四年九月の千句連歌―

村石 正行

明治後半・大正期の長野県庁における公文書
管理体制復元の試み ―完結処理から廃棄ま
での過程を中心に―

花岡 康隆

◇研究ノート

長野県内出土の子持勾玉

櫻井 秀雄

貞和三年―一月の「吉野退治」 ―貞和三年

―一月二五日足利直義軍勢催促状の再検討―

花岡 康隆

◇事例報告

発掘調査報告書の「歴史資料化」町田 勝則

◇職員執筆抄・研究活動

3 その他

(1) 令和5年度催しもの案内

A4判(21.0×29.7cm)、三つ折カラー

(2) 『信濃の風土と歴史 28 学芸員が語る長野 県立歴史館所蔵品選 第4巻―近現代歴史 資料―』令和6年3月23日発行、B5判、 48頁、

円

<内容>

はじめに(笹本正治)、長野県行政文書 信
濃国神社宝物古器物古文書目録帳(笹本正
治)、長野県行政文書 明治天皇巡幸関係(花
岡康隆)、長野県行政文書-庁舎建築-(伊藤
友久)、日本測定器株式会社疎開資料(村石
正行)、丸田恒雄更級郷絵画資料、出陣日記
記(大森昭智)、終戦の記(福島良彦)、児玉
勝子日記(大森昭智)、雑誌創刊号コレクシ
ョン(鈴木実)、平出遺跡の発掘調査記録(櫻
井秀雄)

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数 ※

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	県内遺跡報告書	小計
自館制作	1	2	3	0	6
購 入	84	230	0	0	314
寄 贈	423	540	230	114	1,307
令和5年度計	508	772	233	114	1,627
図書資料数(累計)	41,690	38,919	7,719	26,400	114,728

※年次別図書資料数は受入数を計上

(2) 公開用雑誌製本

雑誌製本 6件 改装製本6件

(3) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 0本

寄贈CD-ROM 0本

累計 128本

2 情報提供

(1) レファレンス

181 件(お問い合わせフォーム・電話・閲覧室)

(2) ホームページアクセス数

92,517 件

Ⅶ 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（5月24日）

○特別館長講話 歴史研究の方法 「薙鎌をめぐるって」

笹本 正治

第2回（6月21日）

○文化財・生涯学習課の考える歴史館像

長野県教育委員会事務局

文化財・生涯学習課

課長補佐兼文化財係長

三木 陽平

○各自研究テーマ発表

第3回（7月27日）

○各自研究テーマ発表

○木曾義仲の虚像と実像～令和6年度夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲」展をにらみつつ～
村石 正行

第4回（8月30日）

○古代シナノとその信仰～天武・持統期を中心に～

鈴木 実

○冬企画展「和田英 糸づくりに懸けた明治の女性」とその背景

内城 正登

第5回（9月27日）

○玉纏大刀と冠と三葉文

飯島 公子

○「描かれた川中島合戦」2つの屏風から学んでいること

黒川 稔

第6回（10月26日）

○「中馬荷物并口銭中馬稼村名村数申渡書」を読む

新井 寛子

第7回（11月29日）

○人類社会の形成を考える

町田 勝則

○御師福嶋鳥羽大夫について

河野 智枝

第8回（12月20日）

○古墳築造地移動の理解と「地域」

石丸 敦史

○信州やきもの紀行

柴田 洋孝

第9回（1月24日）

○富岡製糸場を描いた錦絵 附 浮世絵の誕生から、開化絵まで
○長野県立歴史館における近代郡役所文書についての基礎的研究

林 誠
花岡 康隆

第10回（2月21日）

○縄文時代のサケ・マス類利用方法とその展示
○信濃国寺子屋数全国一の真相

水澤 教子
小林 寿英

第11回（3月8日）

○岩波其残の俳画（農耕図）について

小野 和英

3 時代別研究会

(1) 令和5年度 時代別所属者名（●代表 ○主管）

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原 始		●町田 勝則 飯島 公子	○櫻井 秀雄 石丸 敦史	
古 代 中 世		●柴田 洋孝 黒川 稔	水澤 教子	○村石 正行 花岡 康隆
近 世		○小野 和英 ●河野 智枝 小林 寿英	白沢 勝彦	新井 寛子
近現代	新津 尚治	林 誠 ●内城 正登		鈴木 実

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史の変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたって収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なもの

については優先的に対応する。

(d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

(2) 購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈・寄託の内訳

なし

2 展示資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和5年	0	0	2	0	2

(2) 製作・購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈

品名	員数	時代	備考
旅行スタンプ帳	1点	近現代	戦前の観光地のスタンプが捺された帳面
ねこ	1点	近現代	農作業などに利用された厚手のござ

(4) 寄託

なし

(5) 修復

なし

3 考古資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和5年	0	0	0	0	0

(4) 保存処理・修復・科学分析

- ・館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。
- ・当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。
- ・長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委員会への必要な技術協力を行った。

項 目		内 容		件 名 ・ 資 料 名		処理点数	状 況	所 管
木 器	保 存 処 理	大型 木器等 PEG処理 一括 処理	P E G 法※1	第39シリーズ（A槽） 〈川田条里遺跡他〉	153	継 続	当 館	
				第38シリーズ（B槽） （春山B遺跡他）	306	完 了	当 館	
		小型 木器	アクリル樹脂		1	完 了	当 館	
			（トレハロース法）		5	継 続	当 館	
		完 了 合 計				307		
		保 存 処 理 ・ 修 復	氏神遺跡出土 金属製品	1	完 了	朝日美術館		
			石樋（笠仏）の現場指導	1	完 了	長野市教育委員会		
			石造馬頭観音立像の現場指導	1	継 続	千曲市教育委員会		
			大島道脇遺跡出土 土器・石器	4	完 了	木曽広域連合		
			北栗・三宮遺跡出土 鉄製品	30	完 了	当 館		
		赤外線観察	長野市古野神社 俳 額	2	完 了	長野市教育委員会		
金 属 器		X線透過観察	佐久市蛇塚古墳出土 金属製品	75	完 了	佐久市教育委員会		
			永明中学校校庭遺跡出土 金属製品	3	完 了	茅野市教育委員会		
			飯田市五郎田遺跡出土 鉄 剣	1	完 了	長野県埋蔵文化財センター		
			松本市真光寺遺跡出土 さし銭	1	完 了	長野県埋蔵文化財センター		
			完 了 合 計		118			
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等の問合せへの回答					18件	15 市町村・県埋蔵文化財センター		

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集

- ア 特定歴史文書 2,341 冊（うち、紙が 2,333 冊 電子が 8 冊）
- イ 行政資料 225 冊（長野県の行政刊行物等）
- ウ 県報 117 件（令和 5 年 1 月～令和 5 年 12 月分を製本）

② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定会議 8 月 30 日に実施（2022 年度移管決定分）

③ 整理数・整理作業

- ア 整理数 行政文書 2,227 冊 行政資料 200 冊
- イ 整理作業 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

④ 公開

- ア 特定歴史公文書 2022 年度移管分 1,224 冊（うち利用制限なし 628 冊 要審査 596 冊）
- イ 行政資料（2022 年度分）267 冊
- ウ 県報（令和 4 年 1 月～12 月）8 件（124 冊）

⑤ 行政利用（県職員等による行政文書の利用）2 件 2 冊（うち 1 点は長測図）

⑥ 特定歴史公文書の利用請求 2 件 13 冊

⑦ その他

- ア 近代行政文書のデジタル撮影（業者委託） 55 冊（明治元年～明治 5 年）

(2) 近現代資料

① 収集・整理

02-7 原伊市収集文書（追加分）など 3 件を収集した。

資料番号		資料名
G	02-7	原伊市収集文書（追加分）
G	62	旧望月町社会教育・住民運動関係資料
G	63	石川与四郎収集資料

目録の公開は 9 件、3,885 点

資料番号		資料名	点数
G	20-7	原伊市収集文書（追加分）	1 点
G	2	長野県連合青年団関係史料（追加分）	3,247 点
G	12	明治二十七八年征清従軍戦闘日誌	1 点
G	13	満洲国協和会関係資料	27 点
G	15	木曾御料地附近地形図	43 点
G	55	戦後ブラジル移民関係史料	560 点
G	58	昭和十八年軍事郵便	3 点
G	59	中井信彦収集諏訪郡湖南村行政簿冊	2 点
G	60	大林作三『終戦の記』	1 点

計 3,885 点

② 保存

ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）

継続事業 諏訪郡 504 本

(3) 古文書

① 収集（*＝概数含む） 1,658 点

文書名	内 容
寄贈	
麻績宿組頭飯沼家文書 250 点 水内郡妻科村宮大工山寄家資料*500 点	麻績宿で組頭を務めた飯沼家に伝わる文書 旧妻科村の宮大工・宮彫師山寄儀作、父篠原長吉、子山寄新作等に関する史資料 武田信玄陣中で使用したと伝わる四半旗 寛保 4 年～弘化 3 年にわたる文書 戦時中の証券や、徴兵関係の史料 諏訪郡豊田村武井見龍・一郎に関する史料
林慎一氏収集史料 1 点	
諏訪郡中沢村名主文左衛門家文書 25 点	
北安曇郡南小谷村荻原家文書 71 点	
諏訪郡豊田村武井家文書 *150 点	
嘘八百浮世寝言 1 点	
7 件 計 998 点	
寄 託	
上條信彦収集文書（追加） *500 点 1 件 計 500 点	安曇郡上長尾村・松本近藤家などの文書
購 入	
武田晴信書状 1 点	天文 24 年もしくは弘治 3 年に比定される武田晴信の書状 伊勢太々神楽講の運営記録 諏訪藩御厩方を務めた三井家に伝来した記録 岐阜県龍泰寺で旧蔵されていた松本藩祖像 米沢藩上級家臣が礼拝した双軸の画像 椅像で江戸時代後期のもの 戦前の長野市教育委員会主催の視察旅行の記録集 昭和 20 年代の大町市内小学校の様子がわかる記録 長野県庁職員小松益美等の講演記録
佐久郡下桜井村桜井家文書 17 点	
高島藩士三井家文書 97 点	
紙本著色松平康長画像 1 点	
上杉謙信・上杉鷹山像 2 点	
上杉謙信公画像 1 点	
北海道樺太視察旅行記録 1 点	
大町市社小学校 4 年生活簿 39 点	
戦時生活都市婦人講習会講演要旨 1 点	
9 件 計 160 点	

②寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容
該当なし	

③ 整理（*＝継続整理中）

文 書 名	点数（点）
佐久郡長土呂村角田家資料*	3,862
伊那郡大草村横前家文書*	2,718
更級郡上山田村鹿田家史料	126
本池悟収集書簡資料	311
小県郡下青木村小林家文書	23
佐久郡下桜井村桜井家文書	17
高井郡町川田村小森家文書	88
佐久郡八重原村黒沢家文書（追加分）	1
麻績宿組頭飯沼家文書	250
伊那郡大草村文書（桑原巡氏寄託文書）*	99
北安曇郡社小学校生活簿	39
昭和6年樺太視察日記	1
戦時生活都市婦人講習会講演要旨	1
嘘八百浮世寝言	1
小県郡神川村尾崎家文書（盛信文庫）*	1,486
石川欣一収集史料*	830
大町宿曾根原家文書	198
17件 合計	10,051

④ 公開（WEBも含めて）

番号（地区・通番）	文 書 名	点数（点）
1-22	小県郡下青木村小林家文書	23
2-41	佐久郡下桜井村桜井家文書	17
8-22	高井郡町川田村小森家文書	85
2-31	佐久郡八重原村黒沢家文書（追加分）	1
3-6-B	諏訪郡三井家文書（追加分）	3
7-23	松代町本六工社関係（増沢家）文書	16
0-28	村石正行収集文書（追加分）	96
5-80	北安曇郡社小学校生活簿	39
8件 合計		280

⑤ 収蔵文書目録22の刊行

文書番号	収 録 文 書 名
8-13	川田宿西沢家文書

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	1,184 カット（継続）
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	1,184 カット（継続）

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸10回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

Ⅸ 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内および長野市内の諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	博物館研究4月号	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	会報	行事報告
	朝日新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	長野県版（有料）
	読売新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	美術館・博物館情報
	読売新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	美術館・博物館情報
	朝日新聞	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	長野県版（有料）
	朝日新聞	県立歴史館講座 年間案内	新聞	講座
	信濃毎日新聞	第1回県立歴史館講座	新聞	イベントガイド
	信濃毎日新聞	歴史館でこどもの日	新聞	イベントガイド
	中外日報	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	新聞	イベントガイド
	毎日新聞	歴史館でこどもの日	新聞	情報プラザ
	屋代有線放送	第1回県立歴史館講座	有線放送	歴史館へようこそ
	屋代有線放送	歴史館でこどもの日	有線放送	歴史館へようこそ
5月	千曲市報5月号	歴史館でこどもの日	広報誌	インフォメーション
	屋代有線放送	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	有線放送	歴史館へようこそ
	屋代有線放送	考古学講座	有線放送	歴史館へようこそ
	博物館研究5月号	2023年所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編」	会報	行事報告
6月	信濃毎日新聞	第2回県立歴史館講座	新聞	週間ガイド
	千曲市報6月号	第1回考古学講座	広報誌	インフォメーション
	千曲市報6月号	第2回県立歴史館講座	広報誌	インフォメーション
	屋代有線放送	第2回県立歴史館講座	有線放送	歴史館へようこそ
	八十二文化財団広報紙	夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」	広報紙	美術館・博物館での催し
	信濃毎日新聞	考古学講座「中野の古墳に行ってみよう！高遠山古墳と七瀬双子塚古墳」	新聞	週間ガイド
	朝日新聞	夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」	新聞	長野県版（有料）

7月	千曲市報7月号 千曲市報7月号 ちくま未来新聞 屋代有線放送 読売新聞 読売新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究7月号 朝日新聞 信濃毎日新聞 なかの情報NEXT 7月号 朝日新聞 長野日報 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 第3回考古学講座 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 考古学講座「松本の古墳に行ってみよう！市民に愛される弘法山古墳と針塚古墳」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 考古学講座「諏訪の古墳に行ってみよう！道の交わりと人・モノの交流」	広報誌 広報誌 新聞 有線放送 新聞 新聞 新聞 新聞 会報 新聞 新聞 フリーペーパー 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション イベント情報 歴史館へようこそ 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 長野県版（有料） 週間ガイド 行事報告 長野県版（有料） 企画ページ（有料） イベント情報 長野県版（有料） イベント情報 長野県版（有料） 週間ガイド 週間ガイド
8月	千曲市報8月号 千曲市報8月号 屋代有線放送 屋代有線放送 ちくま未来新聞 信濃毎日新聞 週刊いな 週刊いな 中日新聞 朝日新聞 博物館研究8月号 信濃毎日新聞 中日新聞 中日新聞	考古学講座「諏訪の古墳に行ってみよう！道の交わりと人・モノの交流」 歴史館で夏休み 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 歴史館で夏休み 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 歴史館で夏休み 中川村で小学生体験教室 縄文人を感じよう！ 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 考古学講座「飯田の古墳に行ってみよう！馬がもたらした富と権力」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」	広報誌 広報誌 有線放送 有線放送 新聞 新聞 広報紙 広報誌 新聞 新聞 新聞 会報 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 歴史館へようこそ 歴史館へようこそ イベント情報 週間ガイド 出前授業 長野県版（有料） 長野県版（有料） 行事報告 週間ガイド 長野県版（有料） 長野県版（有料）
9月	千曲市報9月号 朝日新聞	燻蒸にともなう休館 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」	広報誌 新聞	インフォメーション 長野県版（有料）
10月	千曲市報10月号 屋代有線放送 信濃毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞 博物館研究10月号	秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」	広報誌 有線放送 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 会報	インフォメーション 歴史館へようこそ （有料） 長野県版（有料） 長野県版（有料） 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 行事報告

	朝日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 読売新聞	秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」講演会・イベント 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」	新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション 長野県版（有料） 週間ガイド 美術館・博物館情報 美術館・博物館情報
11月	朝日新聞 千曲市報 11月号 千曲市報 11月号 千曲市報 11月号 屋代有線放送 屋代有線放送 博物館研究 11月号 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞	秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 県立歴史館開館記念日 近世史セミナー 縄文風クリスマスリースを作ろう 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 第3回県立歴史館講座 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 松代焼の復興について 唐木田又三郎氏の足跡 トークセッション 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」 近世史セミナー「近世の林業史を考える」	新聞 広報誌 広報誌 広報誌 有線放送 有線放送 会報 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	長野県版（有料） インフォメーション インフォメーション インフォメーション 歴史館へようこそ 歴史館へようこそ 行事報告 長野県版（有料） 週間ガイド 長野県版（有料） 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 週間ガイド
12月	千曲市報 12月号 信濃毎日新聞	第3回県立歴史館講座 第3回県立歴史館講座	広報誌 新聞	インフォメーション 週間ガイド
1月	千曲市報 1月号 千曲市報 1月号 博物館研究 1月号 屋代有線放送 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 毎日新聞 週刊うえだ 週刊うえだ 朝日新聞 ながの情報NEXT 2月号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NHK 長野放送局テレビ NHK 長野放送局ラジオ 朝日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 読売新聞	冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展講演会・体験イベント 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 和田英～糸づくりに懸けた明治の女性～ 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展講演会 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 まゆクラフトを作ってみよう 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 近代日本の蚕糸技術「富岡製糸場と絹産業遺産群」と長野 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」	広報誌 広報誌 会報 有線放送 新聞 新聞 新聞 新聞 広報紙 広報紙 新聞 フリーペーパー 新聞 新聞 新聞 テレビ ラジオ 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 行事予定 歴史館へようこそ 2024年辰年暦(1月) インフォメーション 長野県版（有料） 情報プラザ 生活情報 生活情報 長野県版（有料） イベント情報 週間ガイド 週間ガイド WHITE INFO（有料） お知らせ お知らせ 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 週間ガイド 長野県版（有料） 美術館・博物館情報

2月	千曲市報2月号 屋代有線放送 屋代有線放送 博物館研究 朝日新聞 読売新聞 ちくま未来新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	第4回県立歴史館講座 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに魅了した明治の女性～」 第4回県立歴史館講座 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに魅了した明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに魅了した明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに魅了した明治の女性～」 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに魅了した明治の女性～」 県立歴史館イベント 講座と映画「シルク時空をこえて」上映 第4回県立歴史館講座	広報誌 有線放送 有線放送 会報 新聞 新聞 広報紙 新聞 新聞	インフォメーション 歴史館へようこそ 歴史館へようこそ 行事予定 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 イベント情報 週刊ガイド 週刊ガイド
3月	屋代有線放送 博物館研究 CULTURE NAGANO 千曲市報3月号 千曲市報3月号 朝日新聞 読売新聞 読売新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞	2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 親子映画会 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」 2024年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編」	有線放送 会報 広報紙 広報誌 広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	歴史館へようこそ 行事予定 長野県イベント情報 インフォメーション インフォメーション 長野県版（有料） 長野県版（有料） 美術館・博物館情報 長野県版（有料） インフォメーション 長野県版（有料） 美術館・博物館情報

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。

月	掲載・揭示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 地域文化 No.144 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 須坂新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	読めなくても面白い古文書の世界を紹介 「現代史資料」ってなんだろう？ 10歳児に決断迫る家康の書状 出陣か否か どうする牛千代 読めなくても面白い古文書 花押・印判に焦点当てる 「減税」約束した武田氏の書状 利害一致と文書による支配 小田切遺児覚のもと？須坂の子孫が系譜入手 わかまち紡いた歴史染いた宝「大塔合戦」の歴史を伝える塩崎城跡 室町幕府発行の出陣命令書 手紙 届くまでの時間は？ 時代を編む 県史とわたしたち⑧ 公文書管理条例 制定進まず 時代を編む 県史とわたしたち⑨ 県内の公文書館 全国最多	記事 季刊雑誌 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム 記事 記事	所蔵品展 現代史資料 所蔵品展 所蔵品展 県立歴史館講座 コメント コメント 所蔵品展 長野県史 長野県史
5月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞	屋代遺跡群出土の「国符木簡」「信濃国符」伝える懸命な文字 仙石権兵衛からの書状が家宝に 江戸時代の家意識を感じる 時代を読む 県史とわたしたち⑪「公共財」守り 市町村誌作る 時代を読む 県史とわたしたち⑫ 現代の姿 デジタル化し保存・活用 明治時代 焼失前の善光寺仁王門か 名古屋で写真館開いた元松代藩士が撮影 真田信之の朱印状と漆紙文書 紙の使われ方に思い「読む」 学芸員のおススメ!! 想像も歴史研究の楽しみ 武田晴信書状	コラム コラム 記事 記事 記事 記事 コラム コラム	所蔵品展 所蔵品展 コメント コメント コメント 所蔵品展 所蔵品展

	信濃毎日新聞	「科野」の表記使われ始めたのはいつ ヤマト王権との関係で見る	コラム	県立歴史館講座
6月	信濃毎日新聞	古墳同士で同形 長野盆地に複数 厳格な設計図やルール存在か	コラム	考古学講座
	信濃毎日新聞	図から浮かぶ初期松代城 堀と高土塁に囲まれた城塞	コラム	常設展 (近世)
	信濃毎日新聞 (夕刊)	関東大震災 100 年⑤ 被災地から地方へ 鉄道無料に	記事	所蔵史料
	中日新聞	県「災害伝承カード」計 100 種に 第 4 弾 13 種が仲間入り	記事	
	信濃毎日新聞	県内最古の前方後円墳「高遠山古墳」 いち早く大和王権とつながり	コラム	考古学講座
	信濃毎日新聞	古墳はなぜ巨大になったか 命運託した新王即位の舞台に	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	松本の弘法山古墳と針塚古墳 史跡公園として整備 身近に	コラム	考古学講座
	信濃毎日新聞	県立歴史館を「公文書館に」 知事、条例で位置付け検討	記事	
7月	信濃毎日新聞	シナノの古墳時代 新たな観点で考察	記事	夏季企画展
	週刊長野	夏季企画展「主張する古墳」古墳時代から「シナノ」をひもとく	記事	夏季企画展
	信濃毎日新聞	県内最古級の「馬具」製作地を巡る謎 大陸からの馬文化到達示す副葬品	コラム	夏季企画展講演会
	読売新聞	古墳時代 信州の実像迫る 25 年ぶり企画展	記事	夏季企画展
	信濃毎日新聞	青銅器 光り方にこだわる心性 輝き＝太陽 寒い時代の願い	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	諏訪湖を挟んで築かれた古墳 有力者集団の数に違いか	コラム	考古学講座
	読売新聞	学芸員のおススメ!! もとは黄金色 権威示す 方格規矩四神鏡	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	馬の生産 いち早く始まった長野県 鉄加工技術とともに広まる	コラム	夏季企画展
8月	信濃毎日新聞	飯田市域 500 超える古墳が存在か 馬の飼育がもたらした富と権力	コラム	考古学講座
	信濃毎日新聞	環境一変今紡ぐ県史は 前回刊行から 30 年超…デジタル対応課題	記事	長野県史
	読売新聞	寄付で購入 信玄の書状 県立歴史館、12 日公開 川中島合戦 経過伝える	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	新発見の武田信玄書状 CFで県立歴史館購入	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	長野盆地に登場した方墳 朝鮮半島と結びつき強めたか	コラム	夏季企画展
	中日新聞	川中島「敵討ち取り感謝」県立歴史館 信玄書状を公開初の CF 活用買い取りに成功	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	飯田・下伊那の古墳時代映す銅鏡 畿内王権の内実も見える?	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	家庭の姿や地域の熱意を今に 時代を映す 時計の歴史	コラム	常設展 (近現代)
	信濃毎日新聞	江戸時代の参拝を支えた存在 伊勢と信濃つないだ「御師」	コラム	常設展 (近世)
9月	信濃毎日新聞	100 年前の巻頭大震災 生々しい光景・都心の爪痕 未来の教訓	記事	コメント
	信濃毎日新聞	「駅」の設置は古代・奈良時代から 調査進まず不明点多い信州	コラム	常設展 (古代)
	信濃毎日新聞	阿久野遺跡 多角的に伝える 県立歴史館展示の資料 返還記念企画	記事	
	信濃毎日新聞	馬具副葬の古墳数 全国で突出の信州 馬産地として政権とつながり	コラム	常設展 (原始)
	信濃毎日新聞	木材の使い分け 出土品が語る地域性 広葉樹中心に据えたシナノ	コラム	特設考古学講座
	信濃毎日新聞	食や生活を変えた「やきもの」 信州の窯 江戸時代に復活	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞			
10月	陶説 No843	信州やきもの紀行～江戸から明治へ～	雑誌 記事	秋季企画展
	信濃毎日新聞	身近となった「やきもの」 意外な所にも 進化続ける	コラム	秋季企画展講演会
	信濃毎日新聞	焼き物から歴史読み解く 県立歴史館 245 点展示企画展	記事	秋季企画展
	信濃毎日新聞	いち早くやきもの生産が再開した南信 職人の熱量 根付いた文化	コラム	秋季企画展
	週刊うえだ	信州やきもの紀行～江戸から明治へ～	記事	秋季企画展
	信濃毎日新聞	地元の陶土の性質や需要を反映 重厚で素朴 上田の染谷焼	コラム	秋季企画展
	朝日新聞	帰路に立つ美術館・博物館 資金難、CF活用など自助努力	記事	クラウドファンディング
	信濃毎日新聞	「浅間火山観測所」当時の姿は	記事	コメント
	MC プレス	天守を築いた石川親子 微妙な立場「境目」の武将	記事	
	信濃毎日新聞	独創的な造形や釉薬の「美濃桃山陶」 技術を信州に 窯の礎築く	コラム	秋季企画展
	週刊長野	「信州のやきもの紀行」展開催中 江戸から明治にかけて約 250 点	記事	秋季企画展

	信濃毎日新聞	史誌編さん・史資料収集考える 来月 10 日 県立歴史館でシンポ	記事	シンポジウム
11 月	ちくま未来新聞	長野県立歴史館秋季企画展 信州やきもの紀行	記事	秋季企画展
	信濃毎日新聞	再現が極めて困難な釉薬の技術 松代焼 歴史掘り起こし復活	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	千曲・桑原でかつて生産 戦後途絶 元町焼 小学校に残る文化財	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	「やきもの」でたどる地域の歴史 貢献の末 赤塩焼は衰退	コラム	秋季企画展
	読売新聞	学芸員のおススメ!! 生き物のような「表情」鼎形風炉	コラム	秋季企画展
	信濃毎日新聞	クニの存在を思わせる赤い土器 新しい土器づくり観創出	コラム	県立歴史館講座
12 月	信濃毎日新聞	食べ物の保存保管に試行錯誤 生活変えた冷蔵庫の進歩	コラム	常設展 (近現代)
	信濃毎日新聞	佐久間象山支えた地元の名士 親しい関係続けた関長昭	コラム	常設展 (近世)
	信濃毎日新聞	貨幣流通もたらした北宋銭や明銭 経済活動を映す お金の歴史	コラム	常設展 (中世)
	信濃毎日新聞	時代を編む 県史とわたしたち④ 動き出す新たな県史編さん	記事	長野県史
	信濃毎日新聞	古墳時代 家族の食事に影響 カマド登場で「キッチン革命」	コラム	常設展 (原始)
	信濃毎日新聞	回顧 1 年 歴史 (県内) 新たな県史編さん 26 年度着手へ動き	記事	
1 月	信濃毎日新聞	硯や故宮に刻まれた龍 爪の数で見える国際関係	コラム	特別展示
	信濃毎日新聞	「蚕糸王国」長野の遺産 思い巡らせ記憶つむいで	コラム	冬季企画展講演会
	信濃毎日新聞	鉾を握る 満蒙開拓からの問い-5- 叫ぼう 物言えぬ魂のために	記事	
	毎日新聞	糸づくりの発展に尽力 「伝習工女」和田英の功績たどる	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	県内製糸場で活躍 和田英の生涯紹介	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	あす協賛企業「KOA の日」絹の歴史たどる映画上映・企画展も	記事	KOA の日
	信濃毎日新聞	富岡製糸場で学び信州で指導 生糸づくりに懸けた和田英	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	わがまち紡いだ歴史染いた宝 木曾義仲、快進撃のはじまりの地	記事	コメント
	信濃毎日新聞	全国で広がる繭クラフト 養蚕 再び身近になれば	コラム	冬季企画展イベント
	週刊長野	「和田英へ糸づくりに懸けた明治の女性」展 県立歴史館で開催中	記事	冬季企画展
2 月	信濃毎日新聞	資料で見る富岡工女の生活 食事や化粧しみ見つけ	コラム	冬季企画展
	読売新聞	富岡の工女 日記や手紙	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	県組織改正	記事	県民文化部
	信濃毎日新聞	和田英も見た? 富岡製糸場の錦絵 文明開化の時代 随所に描く	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	和田英が指導した松代の六工製糸場 国内外で認められた品質	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	古代刀剣の保存処理・修復 柄の埋納時の形状が復原	コラム	県立歴史館講座
3 月	信濃毎日新聞	南朝攻撃 足利幕府が信州武士に命令 「高師直の独断」印象修正を迫る	コラム	研究紀要
	信濃毎日新聞	神秘性 特別な祭祀で使用? 古墳時代 希少な遺物「子持勾玉」	コラム	研究紀要
	信濃毎日新聞	佐久・大井法華堂の古文書 県宝に 県立歴史館所蔵 審議会が答申	記事	
	中日新聞	大井法華堂文書 県宝指定を答申 佐久の修験道場資料	記事	
	信濃毎日新聞	岩波其残が描いた「農耕図」12 幅 想像膨らむ信州の農村風景	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	松本城のお殿様 100 年ぶりに発見 肖像画 県立歴史館が入手	記事	
	信濃毎日新聞	郷土史研究者・故飯島紘さんの偉業 古文書解説 先祖と「対話」も	コラム	古文書講座
	信濃毎日新聞	近現代の資料展 満州開拓団員が残した日記 岩波其残の「農耕図」初公開	記事	所蔵品展
	信濃毎日新聞	描いた希望や苦難 終戦後の思いは 満州の記録から平和考える	コラム	所蔵品展

一 資料

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	5	8	9	22
掲載	24	17	47	88
複製(資料・写真)	1	1	5	7

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右＝1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレン ス件数	HP アク セス数	図書登 録数	逐次刊行 物等の登 録数
			図 書	歴史 情報	映像 情報	行政 文書	古文書	考古 資料	その他						
4	182	7	138	10	0	13	12	2	7	53	61	11	7,610	95	143
5	262	10	204	18	0	7	22	1	10	61	252	29	8,852	97	55
6	203	8	114	19	0	27	32	1	10	79	85	16	8,813	93	74
7	238	9	186	15	0	12	15	2	8	76	630	19	9,409	152	54
8	361	13	288	24	0	7	32	0	10	91	376	15	8,719	58	56
9	112	7	67	8	0	13	14	3	7	31	163	7	7,271	83	31
10	207	8	149	15	0	9	18	5	11	62	111	17	7,385	70	51
11	235	9	179	10	0	9	24	4	9	80	82	12	7,125	79	82
12	150	7	84	13	0	15	28	0	10	70	197	20	6,181	76	31
1	149	6	109	11	0	4	11	4	10	65	142	15	7,142	123	52
2	172	8	124	9	0	9	22	2	6	43	190	10	7,022	64	38
3	175	7	126	10	0	11	24	0	4	105	454	104	6,988	42	91
計	2,446	8	1,768	162	0	136	254	24	102	816	2,743	181	92,517	1,032	758

III 利用者

令和5年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		地域展		利用者 計
	観覧者 数	日数	観覧者 数	日数	受講者 等数	日数	閲覧者 数	日数	受講者 数	日数	閲覧者 数	延べ 日数	
4	1,584	26	1,427	26	2,214	28	182	26	55	1	0	0	5,462
5	3,804	26	3,256	24	1,597	30	262	26	138	4	0	0	9,057
6	3,924	26	0	0	453	12	203	26	244	4	0	0	4,824
7	2,901	26	3,105	26	516	12	238	26	229	4	0	0	6,989
8	2,367	28	1,831	19	681	15	361	28	244	7	4,936	45	10,420
9	1,036	17	0	0	209	8	112	17	150	4	0	0	1,507
10	1,932	26	1,259	21	363	11	207	26	245	7	4,672	27	8,678
11	3,184	25	2,926	22	263	6	235	25	289	7	0	0	6,897
12	429	23	0	0	128	4	150	23	94	4	0	0	801
1	954	24	1,019	16	593	12	149	24	80	1	1,619	32	4,414
2	1,132	22	1,459	22	598	19	172	22	145	3	0	0	3,506
3	1,246	25	565	8	740	6	175	25	116	3	1,136	17	3,978
計	24,493	294	16,847	184	8,355	163	2,446	294	2,029	49	12,363	121	66,533
					・出前講座を除く ・埋文センター 速報展を含む				・p55、56 出前 講座に同じ				

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061
令和4年度	25,689	18,929	19,048	1,513	65,179
令和5年度	24,493	16,847	22,747	2,446	66,533
合計	1,364,078	897,193	413,279	217,288	2,958,371

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数

企＝企画展 季＝季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	－

夏企	古代シナノの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18~8/23	32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17~11/23	33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4~5/9	33日	9,866
夏企	信濃名宝展 -鎌倉時代の文化財-	7/16~8/22	38日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 -江戸時代 信濃の科学技術-	10/9~11/14	32日	7,321
考古資料特別公開	麗動する縄文土器・里帰りした信州の出土品-重文新指定時代田町川原田遺跡出土品とその周辺-	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 -ともに生きた人びとの記録-	7/22~8/27	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち -信濃古道をたどる-	10/5~11/12	34日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう -十九世紀北信濃の文芸ネットワーク-	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 -仮面土偶をつくった人びと-	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 -信山育材-	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 -信濃二十六宿と間宿-	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 -田中平八コレクションと北信濃の雛人形-	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん -秘仏の寺ものがたり-	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ-伝えたい古人の心と技-	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展-風化させてはならない歴史-	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 -唱歌・童謡のふるさと信州-	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 -石の時代の槍と斧-	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 -子どもの祝い-	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り -古代のまつり-	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 -街道を行き来した人・物・文化-	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 -義仲から幸村まで-	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平ゆかりの雛人形 -横浜を目指した信州の生糸商人たち-	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 -GHQ接收刀剣の輝き-	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの「縄文伝説」-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた-	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 -身だしなみとよそおい-	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代-神津猛・米山一政寄贈資料を中心に-	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 -時代を駆けた草莽たち-	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち -信州の一五年戦争-	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ -新指定長野県宝と歴史館のお宝-	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見-長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 -私の城下町-	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島2007 -新発見考古速報展-	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 -雛人形と郷土の人形-	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る -縄文から近世まで-	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝-	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰-流転と遍歴の勅化-	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 -歴史を記録した先人たち-	8/1~9/6	32日	4,248

秋企	山を越え川に沿うー信州弥生文化の確立ー	9/26～11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諏訪地域の“いのり”と“まつり”ー	12/12～2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り [沖縄戦から65年]	5/29～7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31～8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺ー古代に創建された松本平の二つの寺院ー	9/18～11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちから 墨書土器から新聞の時代までー	12/11～2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28～7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23～9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまでー	9/23～11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10～2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10～5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26～7/16	45日	8,871
夏季	「戦争と宣伝」 阿智村ポスターが語る	7/28～9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展 八ヶ岳山麓の名作	9/15～11/4	44日	6,871
	〃 後期展 千曲川流域、土器1万年の旅	11/10～12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12～3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29～8/18	45日	4,608
	ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中学校野球ー			
秋企	刃が語る信濃ー武器、象徴、そして芸術へー	9/14～11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23～1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州ーパンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉ー	2/1～3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21～6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美ー信濃の歴史を彩る名品たちー	6/14～7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26～8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19～8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断ー信長・秀吉・家康の時代ー	9/27～11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展 デコボコかざりのはじまり	11/29～2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆくー信濃と北陸をつなぐ道ー	(4/1)～5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30～7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945ー疎開・動員体験と上原良司ー	7/25～9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史ー発掘された木製品、樹木信仰のみる3万年の歴史ー	10/3～11/29	49日	6,570
冬企	地図の「明治維新」ー残された明治初期の町村地図ー	12/19～2/28	58日	2,838
巡回展	埋蔵文化財センター速報展 長野県の遺跡発掘2016	3/12～6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄道の軌跡ー	7/9～8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝ー文化の十字路ー	9/17～11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー	12/17～2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18～(3/31)	12日	973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1～6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー	7/8～8/28	46日	3,089
秋企	縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器ー流れるもようと区画もようー	9/16～11/26	61日	7,727
冬季	田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新	12/16～2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17～(3/31)	12日	606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1～6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか！ー水辺の出会いー	6/16～7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石 先史社会の石材獲得と流通	9/15～11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行男展	12/15～2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019「長野県の考古学 時代を映す“匠”の技」	3/16～(3/31)	13日	858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1～6/23	73日	12,117

夏季	長野県立歴史館の名品	7/6～8/18 39日	3,840
秋企	戦国 小笠原三代 長時・貞慶・秀政	9/7～10/14 33日	5,049
特別企画	土偶展前期展 国宝土偶～縄文文化の多様な個性～	10/26～11/10 16日	15,041
特別企画	土偶展後期展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～	11/23～2/2 57日	4,127
春季展	長野県の考古学2020「長野県の考古学 いのちをつなぐ技と交流」	3/14～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 -信州と北部九州-	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折-伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	3/13～(3/31) 16日	888
令和3年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	4/1～6/13 63日	5,590
夏企	青少年義勇軍が見た満州-創られた大陸の夢	7/10～8/22 38日	4,858
秋企	全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-	9/18～11/23 55日	8,562
冬企	郷愁の画家 丸山晚霞 -師友とその時代	1/15～2/27 37日	2,371
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	3/19～(3/31) 11日	781
令和4年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	4/1～6/12 62日	6,658
夏企	山伏-佐久の修験 大井法華堂の世界-	7/9～8/21 37日	4,078
秋企	諏訪と武田氏	10/8～11/20 37日	5,287
冬企	高遠藩の遺産-最後の藩主が残したもの-	1/14～2/26 37日	2,249
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 古文書編-	3/18～(3/31) 11日	657
令和5年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 古文書編-	4/1～5/28 50日	4,683
夏企	主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～	7/1～8/20 44日	4,936
秋企	信州のやきもの紀行～江戸から明治へ～	10/7～11/26 44日	4,185
冬企	和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～	1/13～2/25 38日	2,478
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編-	3/23～(3/31) 8日	565

ミニ展示	「県宝 六角宝幢」(長野県の遺跡発掘2017同時開催)	12,066人 75日
ミニ展示	「県歌 50年」作詞家「浅井列の書を見る」	965人 26日
ミニ展示	「信州の野球史 夏」	996人 32日
ミニ展示	「平成とともに歩んだ歴史館」(ポスター展)	1,121人 50日
ミニ展示	「掘るしん 2021」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	1,993人 50日
ミニ展示	「掘るしん 2022」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	3,427人 73日

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書・逐次刊 行物(冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582

18 年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19 年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20 年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21 年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22 年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23 年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24 年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25 年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26 年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27 年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28 年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29 年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30 年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2 年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282
3 年度	2,418	85	147,336	2,030	29,222	0	379,745	14,734
4 年度	2,418	0	150,618	2,304	29,222	0	395,971	16,226
5 年度	2,420	2	152,398	1,780	29,222	0	412,599	16,628

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品がある。令和5年度時点で保存処理済(PEG処理等)の点数は、32,992点があり、当館第2収蔵庫で収納している。

※平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

※文献史料数は、整理を終了した確定数であり、必ずしも受入数とは一致しない。

一日誌

- 5月 5日(木) 歴史館でこどもの日①歴史館ワードパズル②プラ板マスコットづくり
6日(土) 県立歴史館講座①笹本特別館長
「所蔵史料にみる戦国時代の信濃～武田氏を中心として～」
21日(土) 考古学セミナー研究報告会
長野市清水原古墳群(長野市教育委員会 風間栄一氏)
上田市上田城石切丁場(上田市教育委員会 和根崎剛氏)
飯田市西浦遺跡大型建物(長野県埋蔵文化財センター 上田典男氏)
27日(土) 古文書講座上級①、古文書演習
28日(日) 所蔵品展所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編
～読めなくても面白い～」終了
- 6月 1日(木) 北信越博物館協議会
館蔵文書を読む会①
2日(金) 長野県博物館協議会総会・研修会(長野市)
3日(土) 古文書講座中級A①
4日(日) 古文書講座初級A①
8日(木) 古文書講座初級B①・中級B①
10日(土) 県立歴史館講座②文化財・生涯学習課 西山克己氏
「シナノから科野 そして信濃へ～考古資料からみた信濃誕生～」
11日(日) 科野のムラお田植えまつり(入館無料)
17日(土) 考古学講座①石丸文化財専門員「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」
22日(木) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(南木曾)
24日(土) 古文書講座上級②、古文書演習
29日(木) 館蔵文書を読む会②
30日(金) 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」
オープニングセレモニー
- 7月 1日(土) 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」開始
山の洲文化財交流展「発掘が語る地域交流」開始
古文書講座中級A②
考古学講座②柳生俊樹氏(中野市教育委員会学芸員)
「中野の古墳に行ってみよう!～高遠山古墳と七瀬双子塚古墳～」
2日(日) 古文書講座初級A②
6日(木) 古文書講座初級B②・中級B②
11日(火) 長野県総合教育センター研修
15日(土) 考古学講座③ 小山奈津実氏(松本市教育委員会主任)
「松本の古墳に行ってみよう!～市民に愛される弘法山古墳と針塚古墳～」
22日(日) 古文書講座上級③
企画展ワークショップ「古墳の設計図を描いてみよう」
古文書演習③
27日(木) 令和5年度県立歴史館資料委員会
館蔵文書を読む会
29日(土) 夏季企画展講演会①京都府立大学准教授 諫早直人氏
「シナノの騎馬文化と古代東アジア」
- 8月 3日(木) 令和5年度長野県立歴史館協議会
ティーンズ古文書講座①
4日(金) ティーンズ古文書講座②
5日(土) 夏季企画展講演会②須永忍氏(高崎市教育委員会)
「上野三碑にみる多文化共生と古墳時代社会」
考古学講座④児玉利一氏(諏訪市博物館主査学芸員)
「諏訪の古墳に行ってみよう!～道の交わりと人・モノの交流～」

- 6日(日) 歴史館で夏休み①どきもドキ②歴史館でワードパズル
- 8日(金) おでかけ歴史館 下諏訪町公民館
- 11日(祝) 「武田信玄(晴信)書状」の特別公開及び講演会 解説 当館特別館長 笹本正治
- 17日(木) おでかけ歴史館 中川村公民館
- 18日(金) 博物館実習開始(～29日)
- 19日(土) 古文書講座中級A③
考古学講座⑤春日宇光氏(飯田市教育委員会主事)
「飯田の古墳に行ってみよう!～馬がもたらした富と権力～」
- 20日(日) 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」終了
山の洲文化財交流展「発掘が語る地域交流」終了
古文書講座初級A③
- 24日(木) 古文書講座初級B③・中級B③
- 26日(土) 古文書講座上級④、古文書演習
- 31日(日) 館蔵文書を読む会④
- 26日(金) 考古資料保存処理講習会(千曲市)
- 9月1日(水) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館展示論」(当館)
- 4日(月) 全館燻蒸(常設展示室)のため休館(～14日)
- 15日(金) 燻蒸終了に伴い、開館
- 16日(土) 古文書講座中級A④
県立歴史館出前講座①(大桑村)
- 17日(日) 古文書講座初級A④
- 21日(木) 古文書講座初級B④・中級B④
- 28日(木) 館蔵文書を読む会⑤
- 30日(土) 古文書講座上級⑤・古文書演習
- 10月5日(木) 古文書講座初級B⑤古文書講座中級B⑤
- 7日(金) 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」オープニングセレモニー
- 8日(土) 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」開始
古文書講座中級A⑤
- 9日(日) 古文書講座初級A⑤
- 12日(木) 県立歴史館古文書愛好会探訪会(安曇野)
- 14日(土) 県立歴史館出前講座②(箕輪町)
- 21日(土) 企画展講演会①元愛知県陶磁美術館副館長 仲野泰裕氏
「やきものって何!?縄文のビーナスから善光寺寄進染付燈籠・・・まで」
- 22日(日) 特設考古学講座①当館 考古資料課学芸員 水澤教子、白沢勝彦
「長野盆地から出土した木製品～木製品の観察～」
- 26日(木) 館蔵文書を読む会⑥
- 28日(土) 秋季企画展親子体験イベント「やきもの体験!～松代焼をつくってみよう～」
古文書フォローアップ講座(上級・中級)
- 29日(日) 古文書フォローアップ講座(初級)
- 11月3日(木) 開館記念日・千曲市森将軍塚まつり(入館無料)
- 10日(金) 長野県資料保存活用連絡協議会講習会②・信濃史学会主催シンポジウム
「史資料の収集・保存・散逸防止と史誌編さん」
報告「長野県の史誌編纂の歩みと課題ー刊行修了30年を経過して考えること」
(事務局理事 村石正行)
- 11日(土) 企画展講演会②トークセッション「松代焼の復興について～唐木田又三の足跡～」
唐木田陶園 唐木田伊三男氏 当館 総合情報課文化財専門員 柴田洋孝
- 16日(木) 館蔵文書を読む会⑦
- 15日(水) 全国博物館大会(千葉県 ～17日)
- 18日(土) 特設考古学講座②当館 考古資料課学芸員 水澤教子、白沢勝彦
「木製品の保存処理と修理①～木製品の保存処理実習～」
- 21日(土) 須坂市連携「須坂市民の日」
- 25日(土) イベント「クリスマスリースづくり」
- 26日(日) 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治へ～」終了
- 30日(木) お出かけ歴史館 上松町立上松小学校
- 12月2日(土) 近世史セミナー

- 「樽木の渡入の実現過程ー享保六年を中心に」(前澤健氏)
「松本藩戸田家の時代の林業ー表勘定所役人の仕事を中心にー」(菊入三樹夫氏)
- 7日(木) 2023 信州知の連携フォーラム(信州大学中央図書館)
7日(木) 館蔵資料を読む会③
9日(土) 県立歴史館講座③当館 総合情報課専門主事 町田勝則
「赤い土器のクニー邪馬台国時代への歩みー」
- 16日(土) 特設考古学講座③当館 考古資料課学芸員 水澤教子、白沢勝彦
「木製品の保存処理と修理②ー木製品の保存処理実習ー」
- 1月13日(金) 冬季企画展「和田英ー糸づくりに懸けた明治の女性ー」オープニングセレモニー
14日(土) 冬季企画展「和田英ー糸づくりに懸けた明治の女性ー」開始
19日(金) 古文書演習
20日(土) 企業協賛 KOAの日(入館無料)
①プラ板マスコットづくり②ドキュメンタリー映画「シルク時空(とき)をこえて」
古文書演習
- 21日(日) 古文書演習
26日(金) 古文書演習、長野県史料保存活用連絡協議会講習会③(～27日)
27日(土) 企画展講演会①群馬県立歴史博物館学芸員 佐藤有 氏
「近代日本の蚕糸技術ー富岡製糸場と絹産業遺跡群と長野ー」
古文書演習
- 28日(日) 古文書演習
- 2月2日(木) 古文書演習
3日(金) 古文書演習
4日(土) 古文書演習
6日(火) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館資料・メディア論」(当館)
9日(金) 古文書演習
10日(土) 企画展体験講座「まゆクラフトを作ってみよう！」
古文書演習
- 11日(日) 古文書演習
15日(木) 令和5年度博物館等関係職員研修会(当館 長野県教育委員会主催)
16日(金) 令和5年度博物館等関係職員研修会(当館 長野県博物館協議会主催)
古文書演習
- 17日(土) 古文書演習
18日(日) 古文書演習
20日(火) 第1回考古資料保存技術講習会
「赤外線反射・X線透過観察で得られる画像の読影方法」
- 23日(金) 冬季企画展特別講座「和田英が伝える明治の工女の姿」
講座:「和田英が伝える明治の工女の姿」当館 総合情報課専門主事 内城正登
映画:「シルク時空(とき)をこえて」
古文書演習
- 24日(土) 冬季企画展「和田英ー糸づくりに懸けた明治の女性ー」終了
古文書演習
- 25日(日) 古文書演習
県立歴史館古文書愛好会総会・講演会
- 27日(火) 収蔵庫点検のため休館(～3/3)
- 3月2日(土) 県立歴史館講座④当館 考古資料課 白沢勝彦「古代刀剣の保存処理・修復」
15日(金) 第2回考古資料保存技術講習会
「赤外線反射・X線透過観察で得られる画像の読影方法」
- 16日(土) 親子映画会(17・19・20日も実施)
19日(火) お出かけ歴史館 南木曾町放課後教室
22日(金) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編
ー長野県民がみた幕末から現代ー」オープニングセレモニー
23日(土) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編
ー長野県民がみた幕末から現代ー」開始

長野県立歴史館年報 第26号 2023年度（令和5年度）

2024(令和6)年 5月30日発行

編集・発行 長野県立歴史館
〒387-0007 千曲市大字屋代260-6
TEL 026-274-2000（代表）
FAX 026-274-3996
